HOCHIKI

2026年3月期
決算説明会資料

ホーチキ株式会社(証券コード：6745)

2026.5.19

2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門



目次

1. 2026年3月期業績
1. 決算ハイライト 4
2. 業績概要 5
3. セグメント別実績 6-12
4. 受注高・受注残高 13

2. 2027年3月期業績予想
1. 予想概要 15
2. セグメント別予想 16
3. ビジネスタイプ×市場別売上高推移 17

3. GLOBAL VISION 2030／Phase1の進捗状況
1. エグゼクティブサマリ 19
2. Phase 1 の総括とPhase2への接続 20
3. 事業ポートフォリオ最適化による資本収益性向上戦略 21
   1.事業戦略①海外におけるシステム販売拡張 22
   2.事業戦略②建物ライフサイクルに沿ったリニューアル需要への対応強化 23
   3.事業戦略③総合防災メーカーとしての差別化戦略による保守事業拡大 24
4. 人的資本経営の推進 25
5. DXによるイノベーション創出 26

4. 資本コストと市場を意識した経営の実践
1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 28
2. 事業ポートフォリオ経営の推進【取り組み内容】 29
3. 資本効率性の改善 30
4. 株主市場の対話強化 31
5. キャッシュアロケーションと戦略投資 32
6. 配当方針 33

5. Appendix
1. 2026年３月期業績（実績）詳細 35-41
2. 外部環境　参考指標 42
3. 2027年３月期業績（予想）詳細 43-45
4. 基本情報 46-63



経営理念

人々に安全を
社会に価値を
企業をとりまく人々に幸福を

ビジョン

人と技術の力で
世界中に
Life Safetyを創造する

行動指針

誠実
情熱＆チャレンジ
チームワーク

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

1 | 2026年3月期業績

2 | 2027年3月期予想

3 | GLOBAL VISION 2030／Phase1（24-26）の進捗状況

GLOBAL VISION 2030／Phase1：2030年度をターゲットにした中長期経営計画のうち2024-2026の3ヵ年計画

4 | 資本コストと市場を意識した経営の実践

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

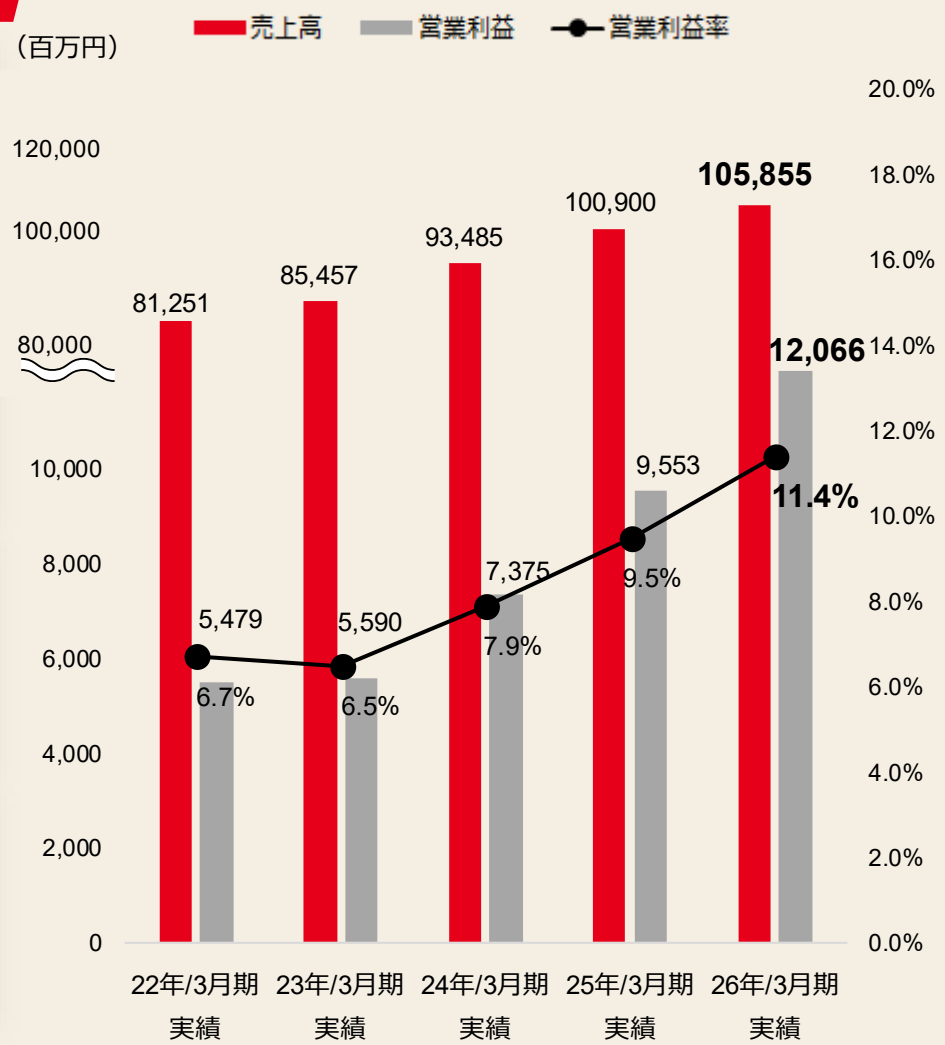
決算ハイライト

売上高・利益とも当初計画を大きく上回る業績を達成、
５期連続で過去最高を更新

海外売上高は欧州と東南アジアを中心に伸長し
＋10.1%増加

国内事業における注力事業のストックビジネス売上高は
＋4.9%伸長

一方、生産能力増強等の構造改革に伴う投資においては遅れが発生、Phase2に向けての課題と認識



※ストックビジネス：建物ライフサイクルの中で長期的にビジネスが発生するリニューアル及び保守事業を定義

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期業績（実績）概要

（百万円）	25年/3月期 実績		26年/3月期 実績		対前期比 増減額	対前期比 増減率	対前期比（為替影響除く） 増減額	対前期比（為替影響除く） 増減率
売上高	100,900		**105,855**		4,954	4.9%	4,486	4.4%
営業利益	9,553	9.5%	**12,066**	11.4%	2,513	26.3%	2,472	25.9%
経常利益	9,736	9.6%	**12,344**	11.7%	2,608	26.8%	2,566	26.4%
親会社株式に帰属する当期純利益	7,650	7.6%	**9,377**	8.9%	1,726	22.6%	1,707	22.3%
研究開発費	3,523		**3,788**		264	7.5%	-	-
設備投資	2,385		**2,172**		△ 212	△8.9%	-	-
減価償却費	1,404		**1,623**		218	15.6%	-	-
ROE	13.7%		**14.7%**		1.0pp	-	-	-
ROIC	11.1%		**13.4%**		2.3pp	-	-	-

売上高	• 国内・海外の火災報知設備と保守事業が増収を牽引。
営業利益	• 売上高の増加に加えて、国内事業の収益性が向上、ストックビジネスの構成比も増加したことで営業利益率は11%に上昇。
経常利益	• 営業利益の増加により増益。最高益を更新。
当期純利益	• 利益成長を受け増益。最高益を更新。

為替レート	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	対前期比 増減額
1ドル	152.62	**150.67**	△ 1.95
1ポンド	194.73	**201.97**	7.24
1豪州ドル	99.60	**99.68**	0.08

営業利益増減WF



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期業績　セグメント別実績

セグメント別損益

（百万円）	売上高	対前期比 増減額	対前期比 増減率	利益	対前期比 増減額	対前期比 増減率
■火災報知設備	66,401	3,914	6.3%	11,187	2,212	24.7%
■保守	22,432	1,347	6.4%	5,289	244	4.8%
■消火設備	10,541	△ 637	-5.7%	1,649	41	2.6%
■防犯設備	6,479	330	5.4%	777	143	22.6%
連結合計	105,855	4,954	4.9%	12,066	2,513	26.3%
調整額	-	-	-	△ 6,836	△ 128	-
※参考 海外G会社5社合計	29,704	2,488	9.1%	3,091	374	13.8%

- 消火設備を除く全てのセグメントにおいて対前年比で増収増益を計上。
- 一方、消火設備を含む全てのセグメントにおいて当初計画値を上回る実績で着地。
- 利益においては**火災報知設備が大幅な増益**となり全社の収益性向上に寄与。

主要指標

（百万円）	売上高／構成比・比率	対前期比 増減額	対前期比 増減率
ストックビジネス（保守＋リニューアル）売上高	48,128	2,243	4.9%
国内売上高に占めるストックビジネス構成比	59.4%	0.8pp	-
海外売上高	24,870	2,291	10.1%
連結売上高に占める海外比率	23.5%	1.1pp	-

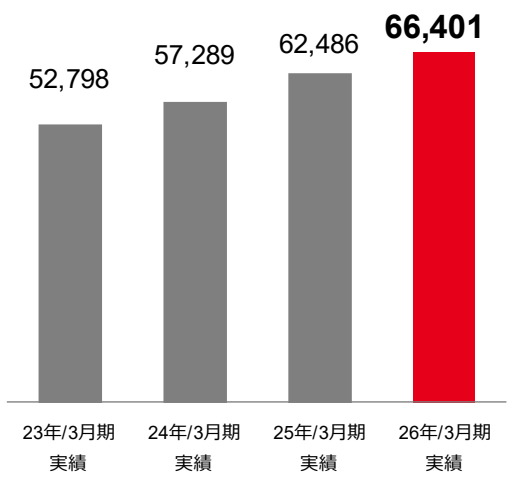
- 国内ストックビジネスが新築を上回って増加したことで**ストック構成比が上昇**。
- 海外売上においては計画値に対して若干届かなかったものの、対前年では**二桁成長**を維持。
- **海外売上高比率も23.5%**となり対前年比＋1.1ppと上昇。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

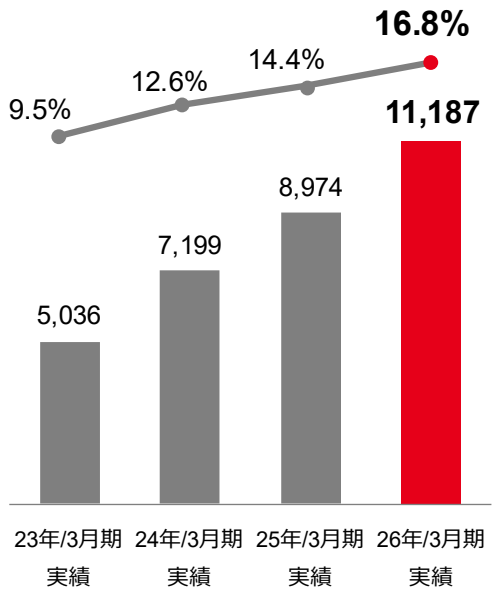
セグメント別実績 火災報知設備

業績推移(百万円)

売上高



セグメント利益・利益率

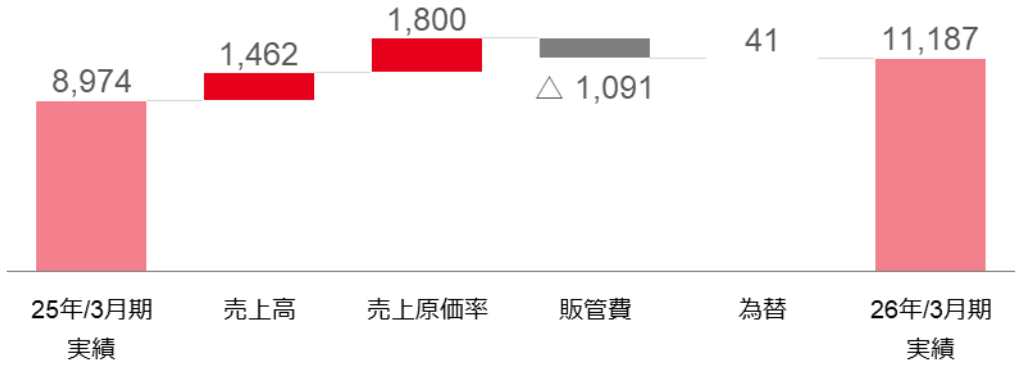


(百万円)	23年/3月期 実績	24年/3月期 実績	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	対前期比 増減率
売上高	52,798	57,289	62,486	66,401	6.3%
国内	36,167	38,061	39,907	41,530	4.1%
海外	16,631	19,227	22,579	24,870	10.1%
セグメント利益	5,036	7,199	8,974	11,187	24.7%

事業環境

国内	• 首都圏を中心とした老朽ビルの建て替え、駅周辺の大型再開発の需要が堅調。 • リニューアル市場においては設備更新時期を迎える物件需要が順調に拡大。 • ストック比率の増加に伴い収益性が向上。
海外	• グローバルのオーガニック市場成長率は国内よりも高い水準が維持。 • 地域別ではアジアで高い成長を見込む。都市化の進展が市場を牽引。 • 中東情勢等、地政学リスクは今後も継続して注視が必要。

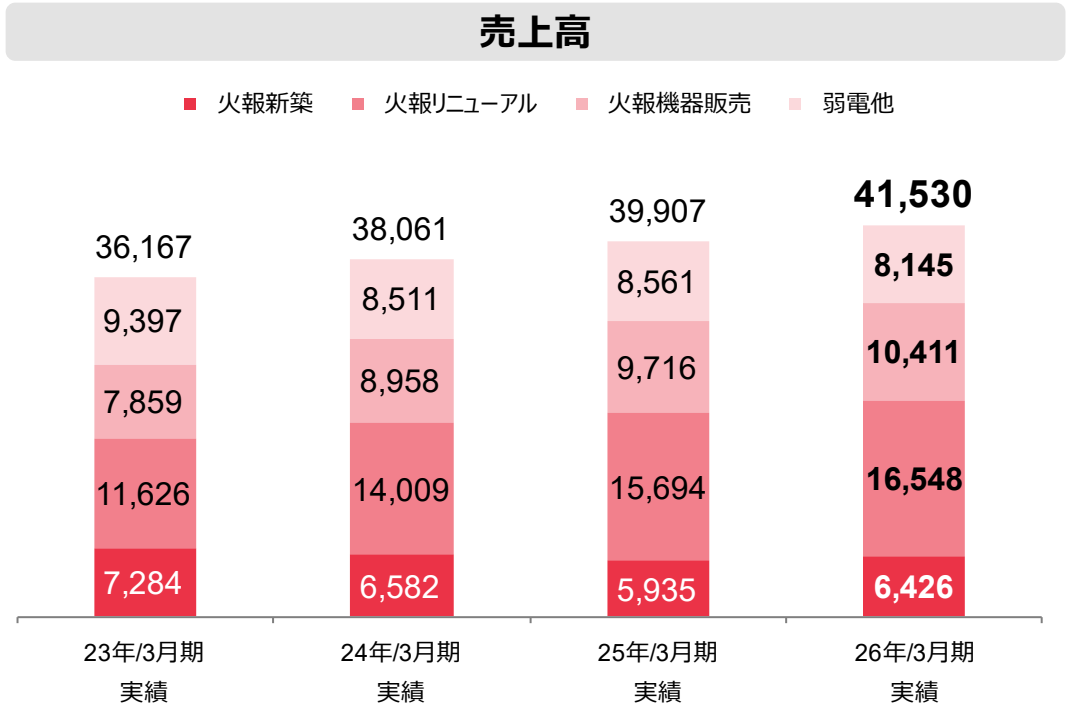
営業利益増減要因分析



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

セグメント別実績 火災報知設備・うち国内

業績推移(百万円)



(百万円)	23年/3月期 実績	24年/3月期 実績	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	対前期比 増減率
国内売上高	36,167	38,061	39,907	41,530	4.1%
火報新築	7,284	6,582	5,935	6,426	8.3%
火報リニューアル	11,626	14,009	15,694	16,548	5.4%
火報機器販売	7,859	8,958	9,716	10,411	7.2%
弱電他	9,397	8,511	8,561	8,145	△4.9%
火報工事付構成比					
火報新築	38.5%	32.0%	27.4%	28.0%	
火報リニューアル	61.5%	68.0%	72.6%	72.0%	

※火報リニューアル売上高について、2025年3月期より連結まで対象を拡大する見直しを行っております。
なお、24/3月期の実績については、見直し後の算出式に基づき作成したものを記載しております。

ポイント

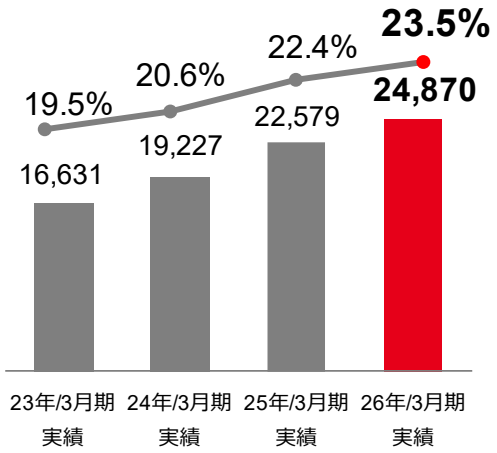
- 新築は採算性や施工キャパシティを考慮した計画的な受注活動を展開しながらも一定の売上ボリュームを維持。
- 機器販売は代理店、販売店との協業施策により、リニューアル関連の販売が伸長。
- 工事付リニューアルは建物ライフサイクルに沿った計画的な受注活動が順調に推移したことにより伸長。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

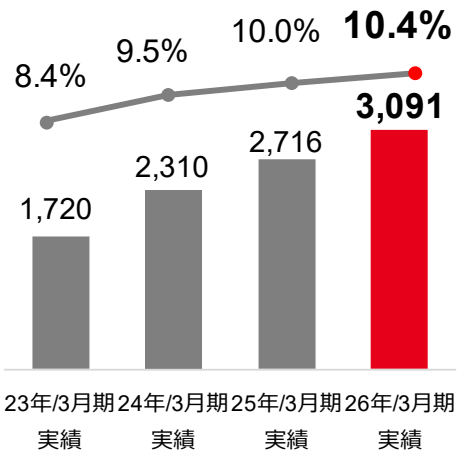
セグメント別実績 火災報知設備・うち海外

業績推移(百万円)

海外売上高・売上構成比



海外グループ会社5社合算 営業利益・利益率



(百万円)	25年/3月期 金額	25年/3月期 構成比	26年/3月期 金額	26年/3月期 構成比	対前期比 増減率
海外合計	22,579	100.0%	24,870	100.0%	10.1% (8.1%)
北米/中南米	2,645	11.7%	2,749	11.1%	3.9% (5.2%)
アジア・パシフィック	5,993	26.5%	7,387	29.7%	23.3% (23.4%)
欧州/中東/インド	13,939	61.8%	14,733	59.2%	5.7% (2.0%)
海外売上高比率		22.4%		23.5%	1.1pp
為替レート（円/USD）		152.62		150.67	-
為替レート（円/GBP）		194.73		201.97	-

※カッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しています。

地域別売上高ポイント

北米/中南米

- OEM販売、システム販売ともに計画通り推移し増収。
- 販売体制の再構築を進め、反転攻勢の土台固めを実施。

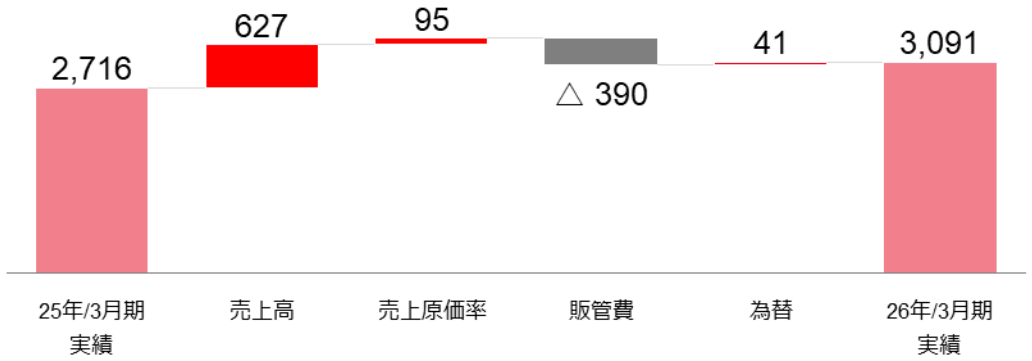
アジア・パシフィック

- 主力地域のベトナムを中心にシステム販売が好調に推移。
- 需要が増加するバッテリーエネルギー貯蔵システム市場への販売増もあり、大幅な増収を達成。

欧州/中東/インド

- 主要販売地域の英国を含む欧州は堅調に推移。
- 中東情勢の影響を受けるも業績インパクトは軽微、増収達成。

営業利益増減要因分析

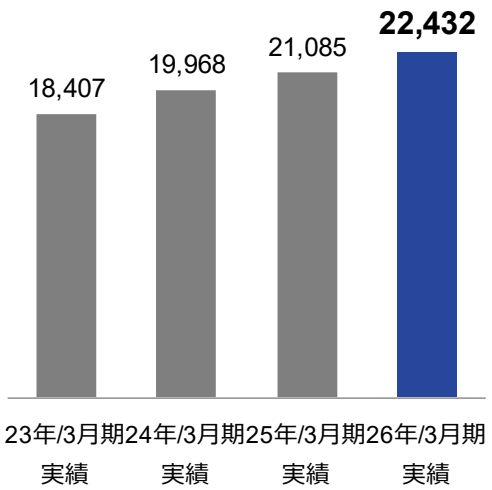


Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

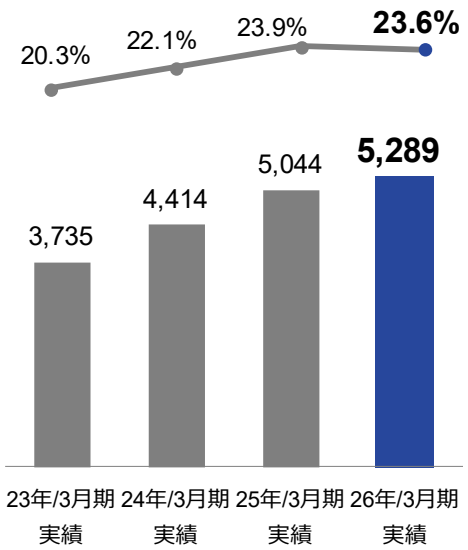
セグメント別実績　保守

業績推移(百万円)

売上高



セグメント利益・利益率



(百万円)	23年/3月期 実績	24年/3月期 実績	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	対前期比 増減率
売上高	18,407	19,968	21,085	22,432	6.4%
点検	11,177	11,472	11,653	11,803	1.3%
整備工事	7,229	8,496	9,432	10,628	12.7%
セグメント利益	3,735	4,414	5,044	5,289	4.8%

ポイント

事業環境	• 保守の営業対象となる防火対象物の件数は年々増加傾向。 • 建物の大規模化・システム機能の高度化により専門的な対応力を持つメーカー点検の需要が高まっている。
売上高	• 採算性を基準とした一部契約の見直しを継続し契約件数は減少するも、契約単価および新規契約率上昇により、保有高を維持。 • 整備工事は定期交換の積極的な提案施策の効果により伸長。消火設備の整備工事取り込みにより増収。
セグメント利益	• 事業拡大に向けた先行的な人員増加により利益率は僅かながら低下も、整備工事の提案型営業促進により着実に増益。

営業利益増減要因分析

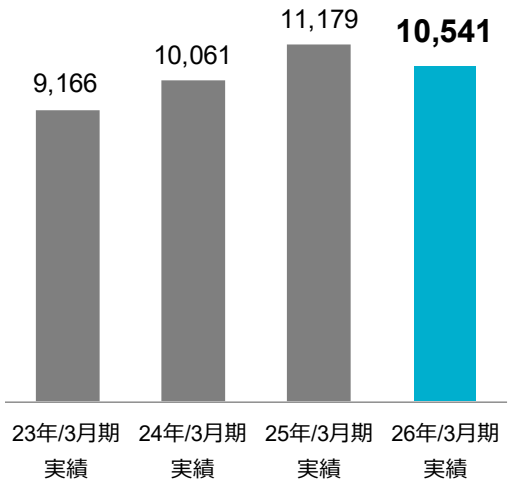


Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

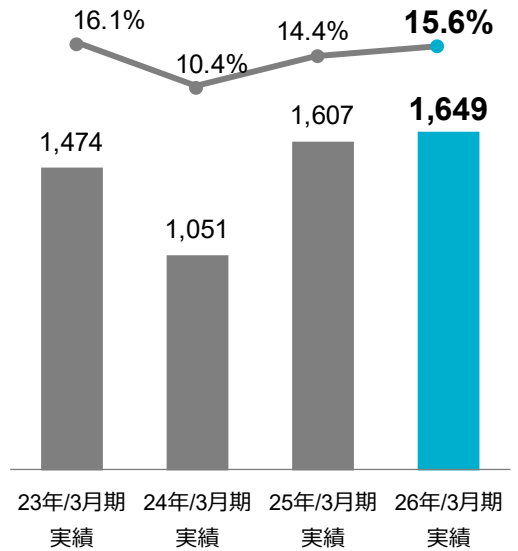
セグメント別実績　消火設備

業績推移(百万円)

売上高



セグメント利益・利益率

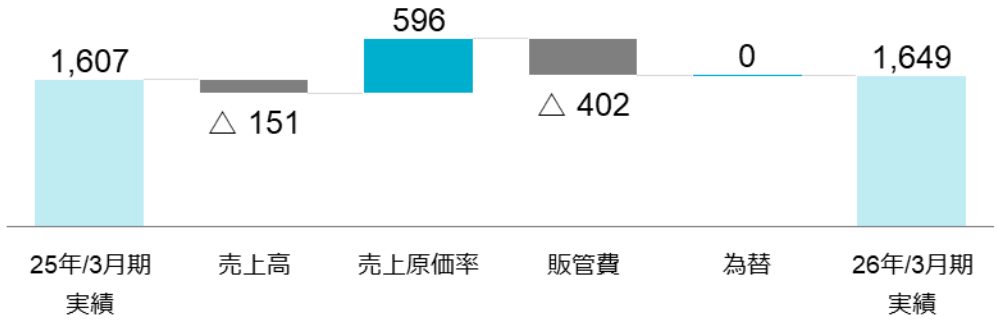


(百万円)	23年/3月期 実績	24年/3月期 実績	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	対前期比 増減率
売上高	9,166	10,061	11,179	10,541	△5.7%
一般消火	8,308	7,436	9,192	9,146	△0.5%
トンネル防災	857	2,624	1,987	1,395	△29.8%
セグメント利益	1,474	1,051	1,607	1,649	2.6%

ポイント

事業環境	• 消火設備事業は、大規模建築物やインフラ案件を中心とするため、案件規模の大型化や受注タイミングの影響を受けやすい事業特性を有している。 • 一般消火設備は新築需要が中長期的に底堅く、トンネル防災設備においても更新・リニューアル需要は継続している。
売上高	• 当期は、大型案件の工期長期化や受注サイクルの影響を受け、売上高は前期比で減少。 • 一方で、事前に想定していたレンジ内での推移であり、構造的な要因による一時的な変動との認識。
セグメント利益	• 売上高の変動がある中でも、セグメント利益は増益を確保し、収益性を重視した事業運営を継続。

営業利益増減要因分析

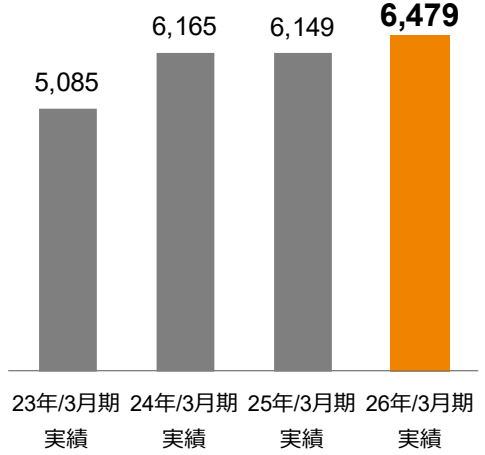


Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

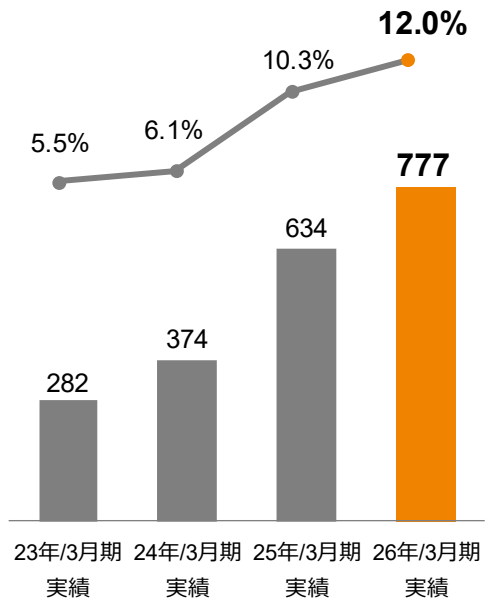
セグメント別実績　防犯設備

業績推移(百万円)

売上高



セグメント利益・利益率

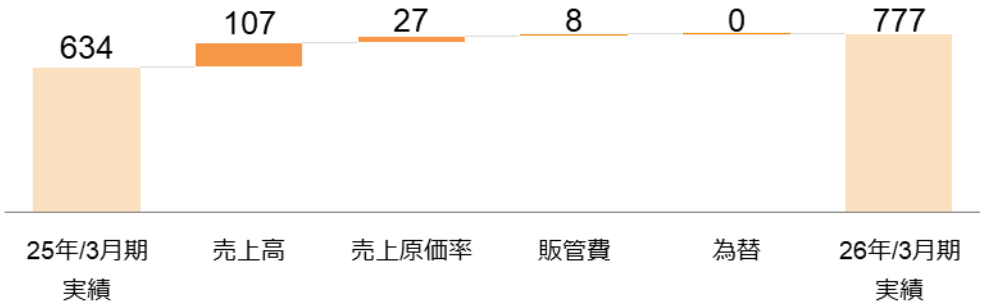


(百万円)	23年/3月期 実績	24年/3月期 実績	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	対前期比 増減率
売上高	5,085	6,165	6,149	6,479	5.4%
アクセス	3,616	4,040	4,301	4,608	7.1%
セキュリティOEM	1,468	2,125	1,848	1,871	1.3%
セグメント利益	282	374	634	777	22.6%

ポイント

事業環境	• 防犯・セキュリティ意識の高まりや施設の高度化を背景とした、更新需要を中心に市場は堅調。 • 顔認証や監視カメラとの連携などのシステム高度化が進み、安定的な市場成長が継続。
売上高	• 入退室管理システムは、竣工後に保守や改修工事につながる物件の積極受注の成果により順調に推移。
セグメント利益	• 売上高伸長と採算性重視の受注活動の成果により利益率が大幅に伸長。

営業利益増減要因分析

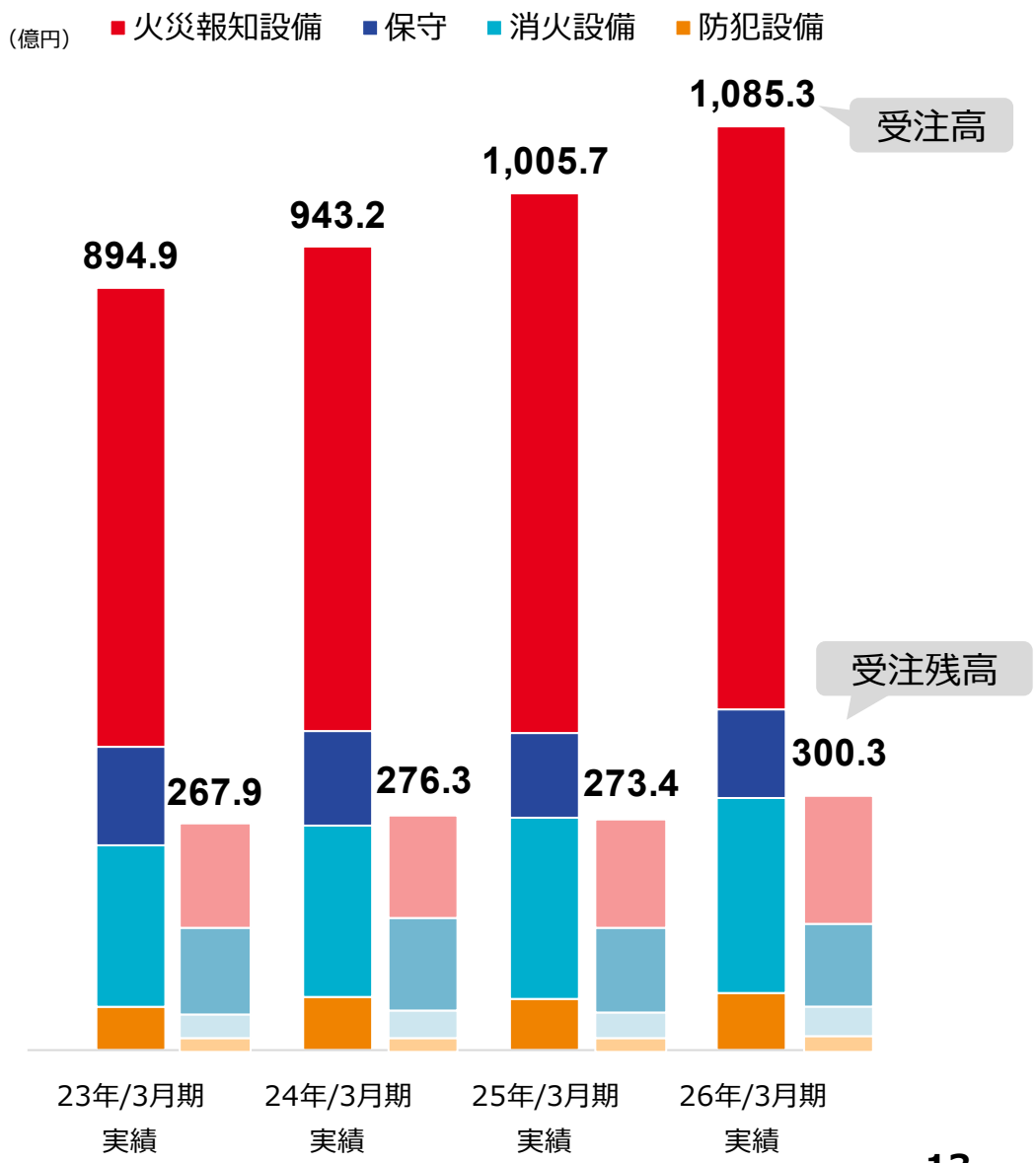


Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期　受注高・受注残高

受注高は5期連続で過去最高を更新。全セグメントで前期比増加。
豊富な受注残高を維持しており、今後の売上高成長を下支えする見通し。

(億円)	25年/3月期 実績		26年/3月期 実績		対前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
受注高	1,005.7	100.0%	1,085.3	100.0%	79.6	7.9%
火災報知設備	632.8	62.9%	686.2	63.2%	53.4	8.5%
（うち海外）	(225.7)	(22.5%)	(248.7)	(22.9%)	(22.9)	(10.1%)
保守	211.1	21.0%	227.7	21.0%	16.5	7.9%
消火設備	101.1	10.1%	104.2	9.6%	3.1	3.1%
防犯設備	60.5	6.0%	67.0	6.2%	6.4	10.7%
受注残高	273.4	100.0%	300.3	100.0%	26.8	9.8%
火災報知設備	127.2	46.5%	149.5	49.8%	22.2	17.5%
（うち海外）	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
保守	31.9	11.7%	35.4	11.8%	3.4	10.8%
消火設備	99.7	36.5%	98.6	32.8%	△ 1.1	△ 1.2%
防犯設備	14.4	5.3%	16.7	5.6%	2.2	15.6%



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

1 | 2026年3月期業績

2 | 2027年3月期予想

3 | GLOBAL VISION 2030／Phase1（24-26）の進捗状況

GLOBAL VISION 2030／Phase1：2030年度をターゲットにした中長期経営計画のうち2024-2026の3ヵ年計画

4 | 資本コストと市場を意識した経営の実践

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2027年3月期業績（予想）概要

（百万円）	26年/3月期 実績		27年/3月期 予想		対前期比		対前期比（為替影響除く）	
					増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	105,855		**110,000**		4,144	3.9%	4,309	4.1%
営業利益	12,066	11.4%	**12,300**	11.2%	233	1.9%	248	2.1%
経常利益	12,344	11.7%	**12,500**	11.4%	155	1.3%	169	1.4%
親会社株式に帰属する当期純利益	9,377	8.9%	**9,000**	8.2%	△ 377	△4.0%	△ 365	△3.9%
研究開発費	3,788		**4,265**		477	12.6%	-	-
設備投資	2,172		**5,341**		3,168	145.8%	-	-
ROE	14.7%		**12.6%**		△ 2.1pp	-	-	-
ROIC	13.4%		**12.8%**		△ 0.6pp	-	-	-

売上高	• 北米及び欧州エリアの増収計画で海外伸長、国内も受注堅調で増収を見込む。
営業利益	• 海外の伸張や保守の収益性改善により増益となる見通し。
経常利益	• 営業利益の増加により、増益となる見通し。
当期純利益	• 前期計上した「賃上げ促進税制」の適用による税負担減を今期は見込んでいないことで減益となる見通し。

・売上高、営業利益、経常利益は６期連続の過去最高値を更新予想。

為替レート	26年/3月期 実績	27年/3月期 予想	対前期比 増減額
1ドル	150.67	**149.00**	△ 1.67
1ポンド	201.97	**201.00**	△ 0.97
1豪州ドル	99.68	**103.00**	3.32

営業利益増減WF



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2027年3月期予想　セグメント別

セグメント別損益

(百万円)	売上高 26/3月期実績 金額	構成比	27/3月期予想 金額	構成比	対同期比 増減率	利益 26/3月期実績 金額	利益率	27/3月期予想 金額	利益率	対同期比 増減率
火災報知設備	66,401	62.7%	**69,600**	**63.3%**	4.8%	11,187	16.8%	**12,000**	**17.2%**	7.3%
保守	22,432	21.2%	**23,300**	**21.2%**	3.9%	5,289	23.6%	**6,300**	**27.0%**	19.1%
消火設備	10,541	10.0%	**10,100**	**9.2%**	△4.2%	1,649	15.6%	**1,500**	**14.9%**	△9.1%
防犯設備	6,479	6.1%	**7,000**	**6.4%**	8.0%	777	12.0%	**800**	**11.4%**	2.9%
調整額	-	-	**-**	**-**	-	△ 6,836	-	**△ 8,300**	**-**	-
連結合計	105,855	100.0%	**110,000**	**100.0%**	3.9%	12,066	11.4%	**12,300**	**11.2%**	1.9%
※参考 海外G会社5社合計	29,704	28.1%	**32,760**	**29.8%**	10.3%	3,091	10.4%	**3,340**	**10.2%**	8.1%

※海外グループ会社の収益は連結相殺後の数値にて火災報知設備セグメントに含まれておりますが、海外事業の収益構造の参考値として掲載いたします。

ポイント

- 火災報知設備は継続して採算性改善を見込む。
- 保守点検は低採算案件の契約見直しを継続し、契約数の減少を見込むが1件当たり単価の上昇により、増収を予想。
- 消火設備は一般建築向けは受注サイクルの端境期にあたることから売上は前年並みを見込み、トンネル防災設備については選別受注を継続する方針のもと、一時的な減収を計画。
- 防犯設備は入退室管理システムに加えカメラのセット販売を促進。

地域別売上高

(百万円)	26/3月期実績 金額	構成比	27/3月期予想 金額	構成比	対同期比 増減率
海外売上高合計	24,870	23.5%	**27,000**	**24.5%**	8.6% (9.2%)
北米/中南米	2,749	11.1%	**3,400**	**12.6%**	23.7% (25.0%)
アジア・パシフィック	7,387	29.7%	**7,500**	**27.8%**	1.5% (2.2%)
欧州/中東/インド	14,733	59.2%	**16,100**	**59.6%**	9.3% (9.8%)

※売上高合計の比率は対連結売上高比率、（　）内は現地通貨ベース数値です。

ポイント

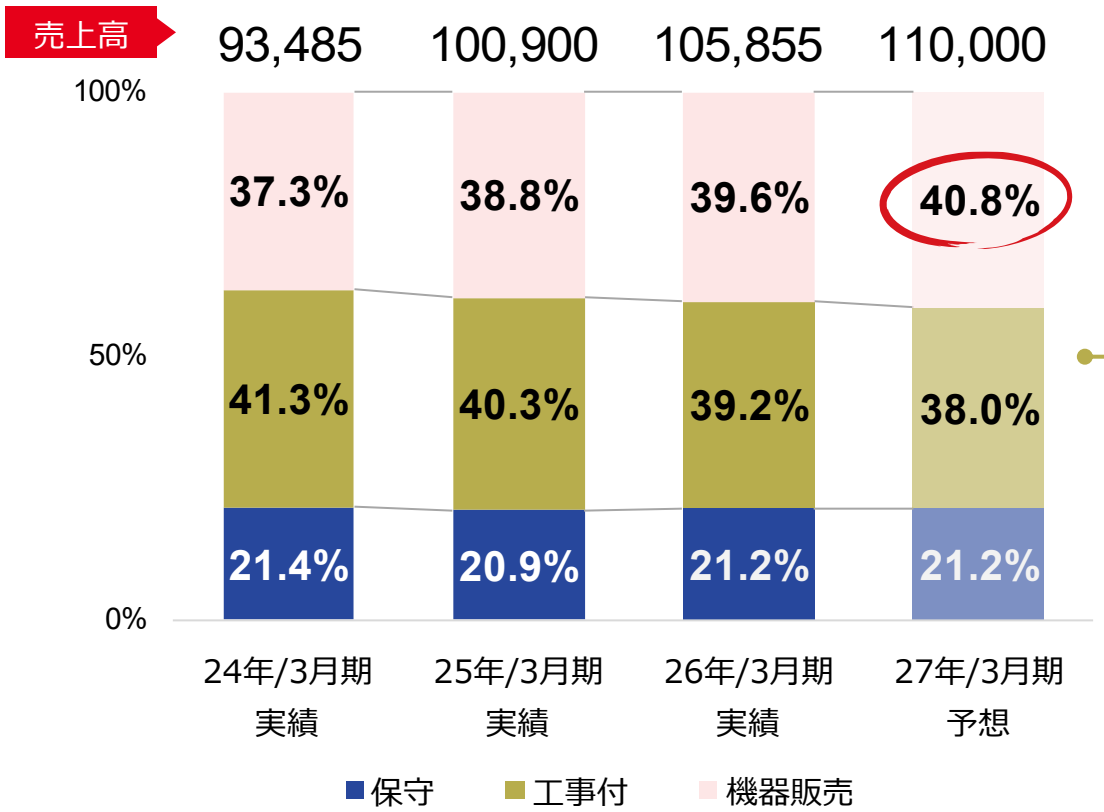
- 北米においてバッテリーエネルギー貯蔵システム市場への販売強化を計画。
  マルチブランド戦略として新規にK-system（Kentecブランド）を北米市場に投入予定。
- アジア・パシフィックでは主要販売地域のベトナムの売上が堅調に推移すると見込む。
- 欧州において英国を中心に販売網強化を継続するとともに昨年OEM供給が滞っていたワイヤレスセンサー販売を再開することで売上増加を狙う。

※中東を含む地政学的リスク等については先行きが不透明であることから、現時点の業績予想には織り込んでおりません。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2027年3月期予想　ビジネスタイプ×市場別売上高推移

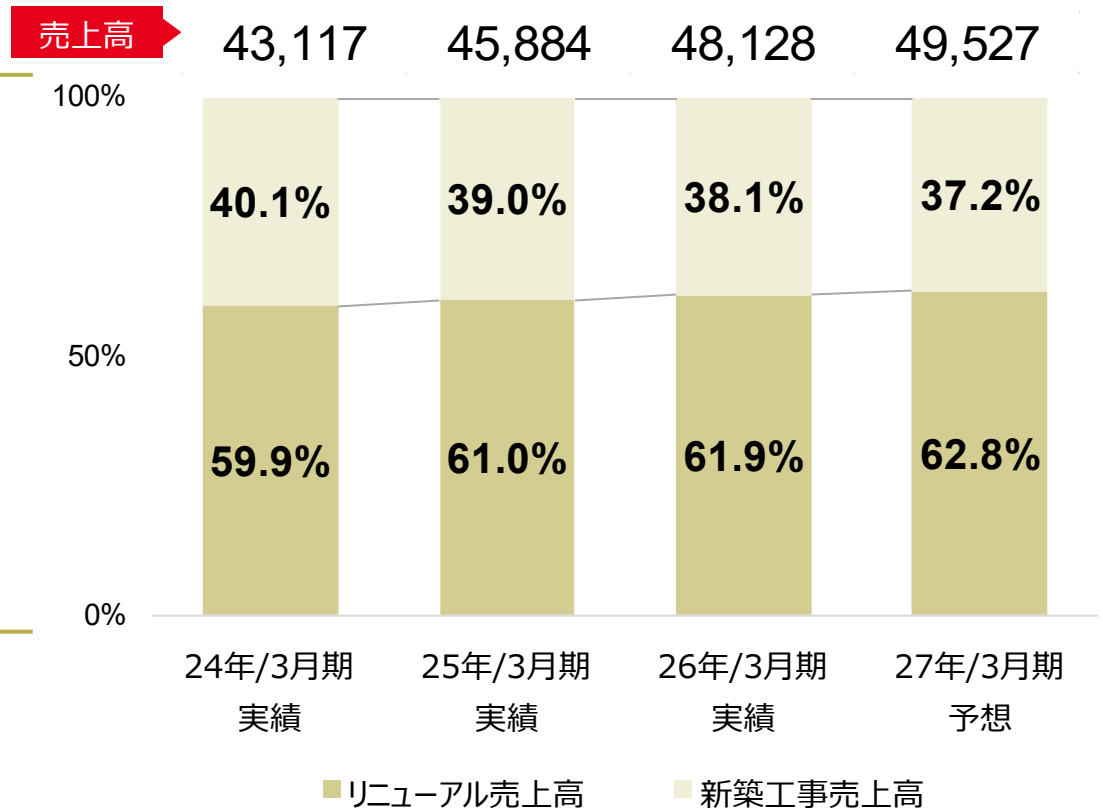
連結ビジネスタイプ別売上高・構成比



ポイント

- 海外および国内の機器販売増加により、機器販売の比率が初めて40%を超える水準に到達。
- 連結ベースでは今後海外事業を拡大させていくことで機器販売タイプの構成比率を更に高めていく方針。

国内工事付新築・リニューアル別売上高・構成比



ポイント

- リニューアルの豊富な更新需要の積み上げにより安定的かつ収益性の高い事業基盤を強化。
- 新築工事は比率が下がるも一定のシェアは維持。新築工事とリニューアル工事の受注バランスを適切にコントロールするとともに、将来的な施工量拡大を見据え、施工協力会社と一体となった施工体制の強化を推進。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

1 | 2026年3月期業績

2 | 2027年3月期予想

3 | GLOBAL VISION 2030／Phase1（24-26）の進捗状況

GLOBAL VISION 2030／Phase1：2030年度をターゲットにした中長期経営計画のうち2024-2026の3ヵ年計画

4 | 資本コストと市場を意識した経営の実践

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

GLOBAL VISION2030　人と技術の力で世界中にLife Safetyを創造する

経営課題

外部環境面	●建設業界人手不足	●残業上限規制対応	●原材料・人件費高騰
内部環境面	●生産能力増強	●国内外生産拠点最適化	●合理化・効率化の推進

GLOBAL VISION2030 (方針骨子)

2024 — Phase 1 — 2026 — Phase 2 — 2030

Dynamic Change
～資本収益性向上に向けた事業基盤改革～

New Value
～新たな価値創出フェーズへの移行～

事業ポートフォリオ最適化による資本収益性向上
戦略的な事業ポートフォリオの組み換えによる資本収益性と企業価値の向上を実践。

人的資本経営の推進
個人とチームを尊重し、高い理念と強い信頼関係に基づくONE HOCHIKIの形成。

DXによるイノベーション推進
火災防災技術をコアにソリューション領域を進化させ、人々のLife Safetyに貢献。

日本の”ホーチキ”から世界の”HOCHIKI”へ、グローバル企業を目指した成長実現。
（2030年度までに海外売上高比率30%以上達成を目指す。）

財務目標

未来に向けた事業投資の実行ステージ

2026年度（Phase1）

連結売上高	1,000億円
営業利益（率）	8.2%
ROE	10%以上
ROIC	9%以上

資本収益性向上の発現ステージ

2030年度（Phase2）

連結売上高	持続的成長
営業利益（率）	10%以上
ROE	10%以上
ROIC	10%以上

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

Phase1（2024-2026）の総括とPhase2への接続

1 業績面では当初計画を大きく上回る到達レベル

Phase1では、採算性重視の受注活動、ストックビジネス拡大、海外事業の伸長により収益構造の改善が進み、主要な財務目標は当初計画を上回る水準で推移しました。

2 投資実行の質・スピード面では課題が残る

一方で、生産能力増強や合理化を中心とする一部の戦略投資は、案件精査や実行体制の整備に時間を要し、当初想定に対して実行が後ろ倒しとなった点は課題として認識しています。

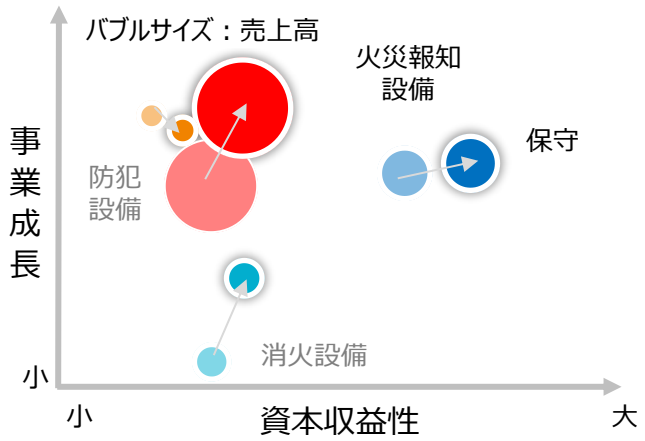
3 Phase2へ接続させるための取り組み

Phase1の最終年度である2026年度はこれまで強化してきた収益基盤とキャッシュ創出力を前提に、Phase2に接続する投資判断と実行のスピードを高め、成長領域への投資を計画的に積み上げていきます。これにより、持続的な成長と企業価値向上を実現し2030年をターゲットとした「GLOBAL VISION 2030」の実現を目指します。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

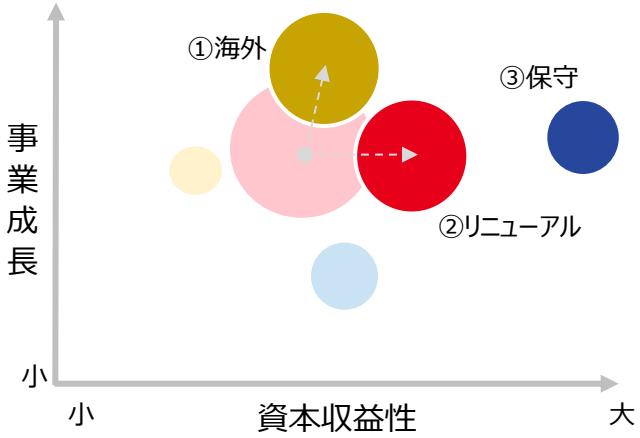
基本方針１．事業ポートフォリオ最適化による資本収益性向上戦略

2027年3月期予測 対 2024年3月期比



火災報知設備	海外販売の強化・リニューアル需要の捕り込みの二軸で成長。積極投資を行いつつ資本収益性を強化させる。
保守	採算性を意識した点検、整備工事拡大。増員とDX化・スマート化により事業基盤を下支え。
消火設備	事業成長率及び資本収益性ともに改善。特に採算性を意識した受注活動を進める。
防犯設備	資本収益性が大きく改善し、ROICプラスを達成。Life Safetyを意識しつつEVA黒字化を目指す。

Phase1（2027年3月期）で目標とする注力3部門の方向性



ポートフォリオ最適化の方向性概要

		進捗・課題	売上高				施策
火災報知設備	①海外	• オーガニックな市場成長の継続が期待。 • システム販売拡大により着実に事業拡大。 • 更なるシステム領域拡張により事業成長拡大を図る。	2026年3月期実績	前年比	2027年3月期目標	当初目標比	• システム領域拡開発投資の実行。 • マルチブランドによるシステム販売拡大。 • 生産能力増強投資の実行。
			248億円	10.1% ↗ 23億円 ↗	270億円	8.8% ↗ 22億円 ↗	
	②リニューアル	• 潜在的リニューアル需要は増加見通し。 • 営業サイクル定着により計画的な需要取り込みが実現。 • 更新需要増加を見据えた体制強化が必須。	2026年3月期実績	前年比	2027年3月期目標	当初目標比	• 施工協力会社を含めた施工対応力増強に向けた人的基盤投資の実行。
			165億円	5.4% ↗ 8億円 ↗	175億円	6.0% ↗ 10億円 ↗	
保守	③保守	• 事業セグメント別のROICが最も高い。 • ターゲットとする用途・規模の防火対象物は増加傾向。 • メーカー点検サービス創出により事業拡大を図る。	2026年3月期実績	前年比	2027年3月期目標	当初目標比	• 労働集約的な事業モデルからDX化・スマート化により事業基盤を強化。
			224億円	6.4% ↗ 13億円 ↗	233億円	9.3% ↗ 20億円 ↗	

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

事業戦略①海外におけるシステム販売拡張



戦略1
システム領域拡張



非常放送（ボイス）システム

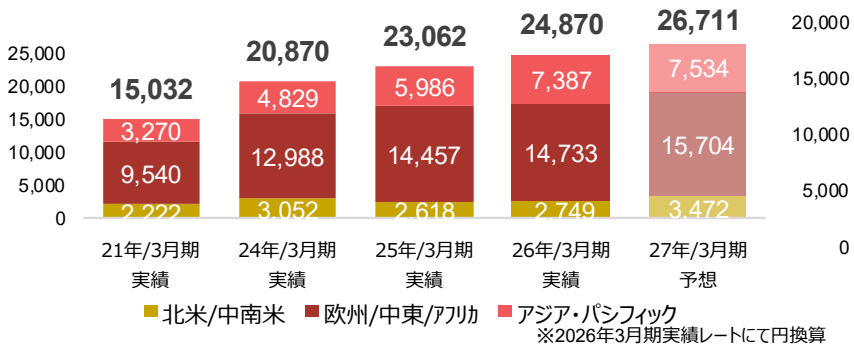
戦略2
マルチブランド化による販売網の拡大
商流における川上営業の強化

戦略3
成長を支える
海外R&D・生産SC体制の強靭化

前期の取り組みと今後の施策

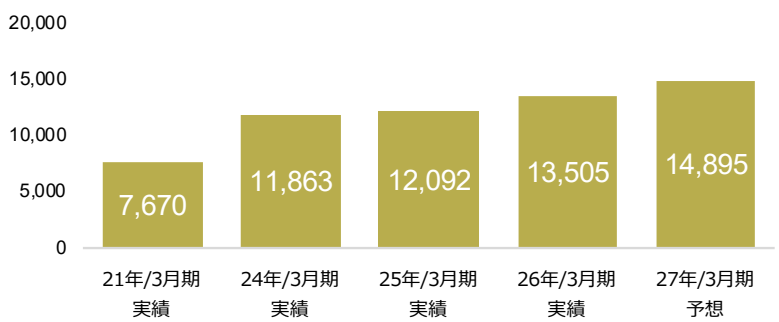
- システム販売は拡大し、売上高は着実に増加しているが、更なる成長にはシステム領域の拡張が必要。
- システム領域を非常放送へ拡張することで、更なる市場攻略を目指す。
- グループ内の販売チャネルを効率的に活用するために、複数ブランドによるシステム販売を展開。
- 2026年度よりK-systemの北米市場投入を計画。
- システム領域拡張に向けたR&D投資を拡大。
- 将来の需要増を見据えた生産能力増強投資計画に遅れが発生、Phase2に向けて取り組みを加速。

海外売上高（為替影響除く） （百万円）



※2026年3月期実績レートにて円換算

システム販売売上高（為替影響除く） （百万円）



※2026年3月期実績レートにて円換算

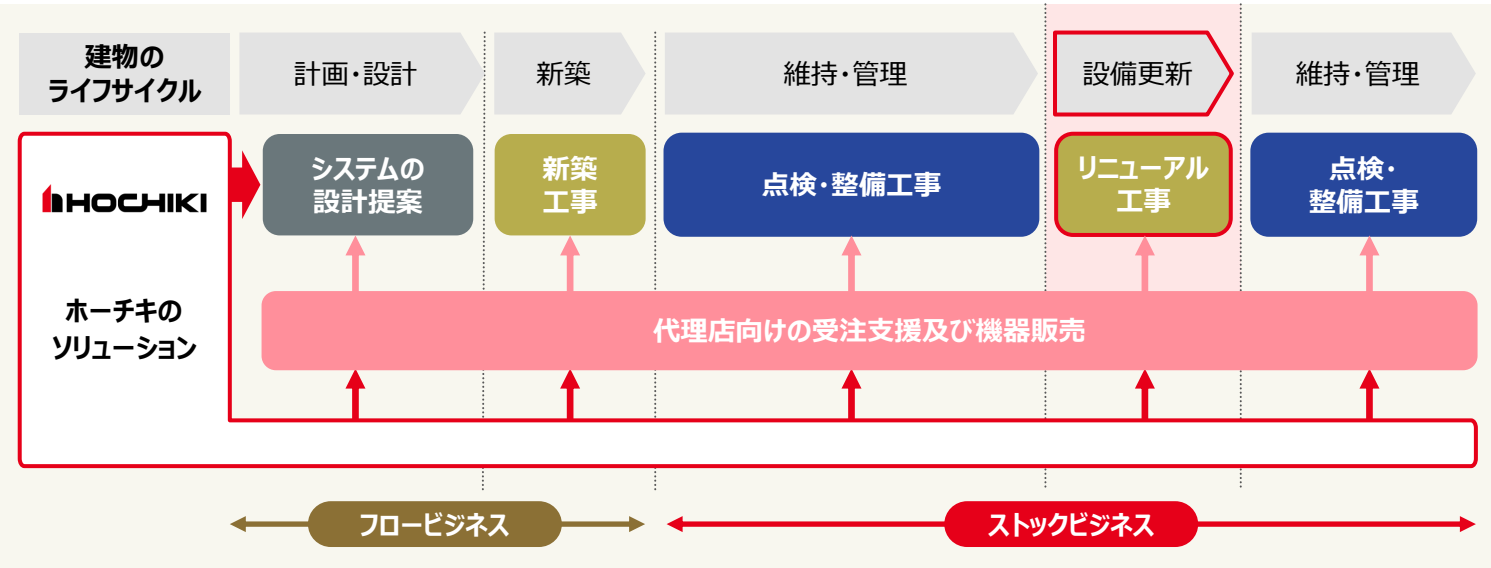
事業投資の考え方

投下資本	● 海外商品レンジの拡充・販売体制整備に、今後数年累計で数十億円規模を投資。
期待成果	● システム販売比率の向上とセンサー販売数量の増加に伴う事業収益性の向上。
時間軸	● 短期は基盤整備、中期で販売拡大、Phase2で収益貢献の本格化。

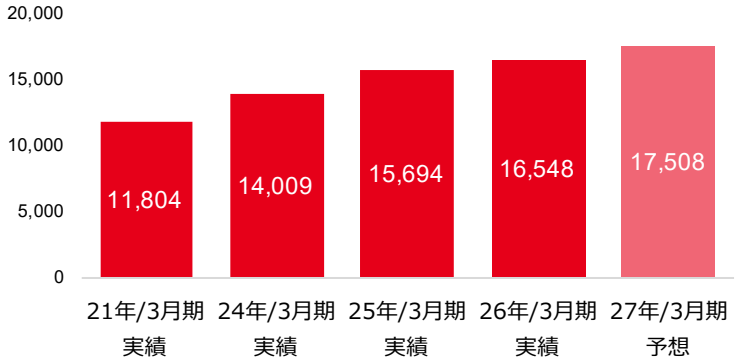
Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

事業戦略②建物ライフサイクルに沿ったリニューアル需要への対応強化 国内

建物ライフサイクル・トータルソリューションモデル



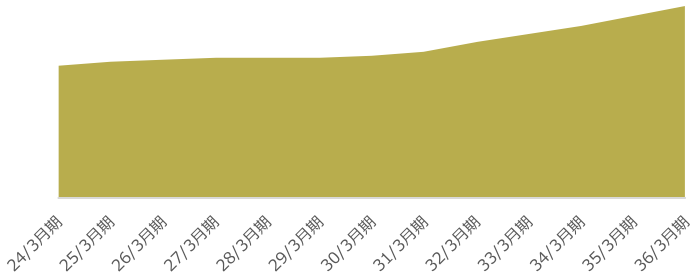
火報リニューアル売上高（百万円）



※21/3月期は個別数値、24/3月期からは連結数値です

R型受信機の更新実績/予測（台）

1.5倍のポテンシャル（2023-2035年）



※26/3月期以降は過去納入した実績値を元に試算

前期の取り組みと今後の施策

戦略1 計画的受注営業モデルの確立

- CRM活用による営業サイクル実行の定着化。
- 提案ノウハウを形式知として人材育成を展開。

戦略2 施工負荷の平準化

- 施工リソースを考慮した計画的な工期平準化。
- 新築との施工リソースアロケーションの最適化を推進。

戦略3 グループ施工体制の強靭化

- 採用強化と人材育成により、施工管理人員の増強。
- 施工協力会社のエンジニアリング基盤強化を推進。

CRM：顧客・物件管理システム

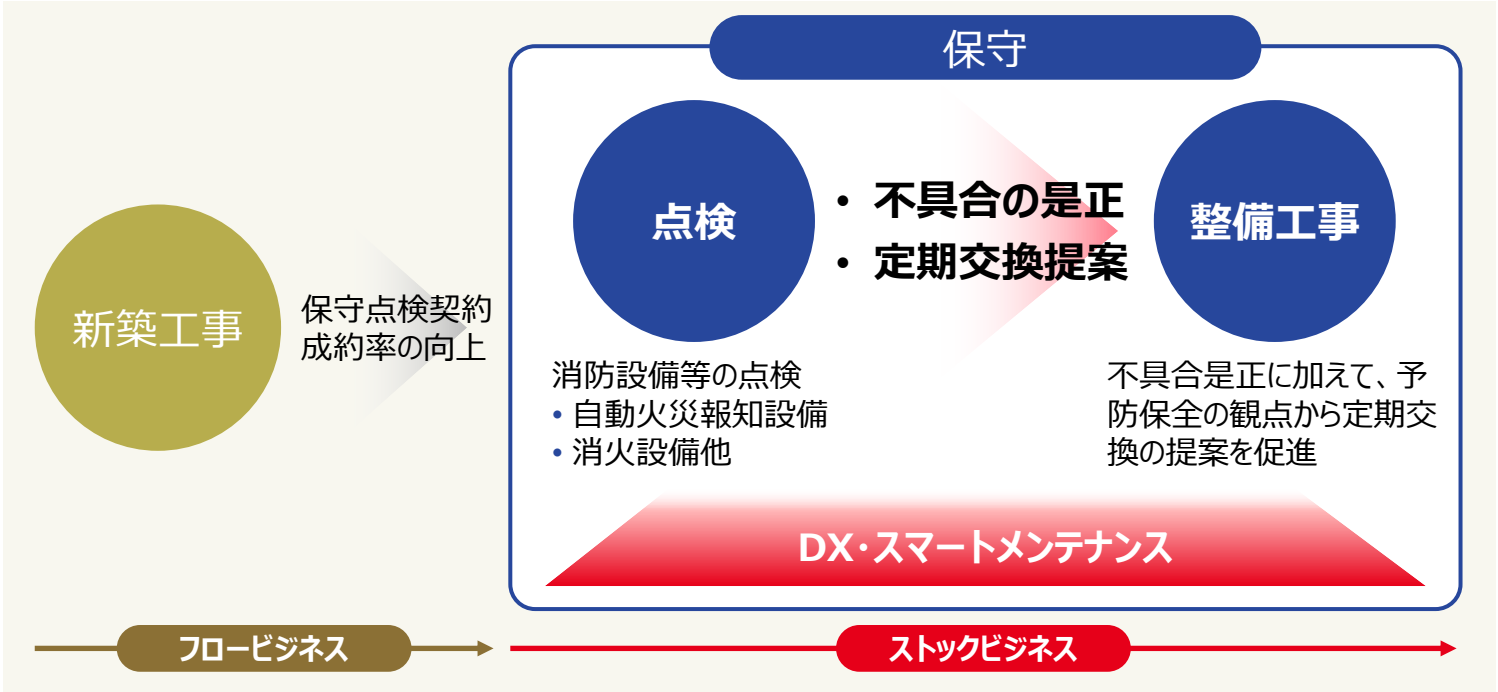
事業投資の考え方

投下資本	● 人員増強と施工体制強化を中心に、年間数億円規模の継続投資。
期待成果	● ストック収益の積み上げによる利益率向上と、キャッシュ創出力の強化。
時間軸	● 短期では基盤構築にコスト増影響、中期で更新需要取り込み、収益性改善。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

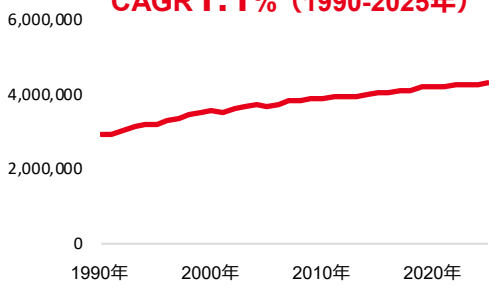
事業戦略③総合防災メーカーとしての差別化戦略による保守事業拡大 国内

ストックビジネスの中核となる保守事業の拡大によって顧客リレーションを強化



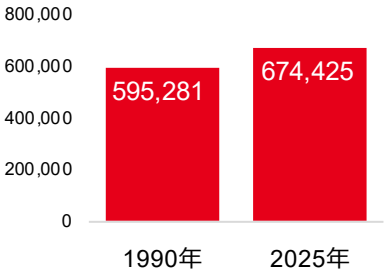
防火対象物件数推移（件）

CAGR1.1%（1990-2025年）

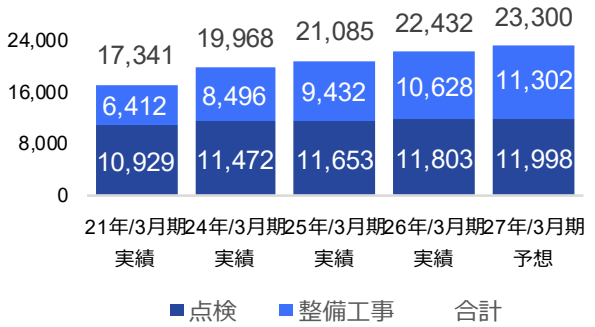


複合用途防火対象物（件）

13.3%増加（1990-2025年）



保守売上高推移（百万円）



前期の取り組みと今後の施策

戦略1　点検保有高増とポートフォリオ最適化

- 総合防災メーカーの優位性を活かすことのできる規模・用途の案件へ、ポートフォリオ組み換えを推進。
- CRM活用による点検成約率の向上。

戦略2　予防管理提案による整備工事拡大

- 不具合是正・定期交換を提案し、不具合発生による事故防止と潜在需要の案件化を推進。

戦略3　点検業務のスマート化

- 労働人口の減少を睨み、設備の適正維持を目的に、点検実務のDX（スマート）化を推進。

CRM：顧客・物件管理システム

事業投資の考え方

投下資本	● IT基盤・開発投資として段階的に年間数億円規模の投資。
期待成果	● 既存事業の生産性向上に加え、新たな付加価値型サービスの創出。
時間軸	● 短期は効率化、中期以降に事業拡大と収益機会の拡張。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

基本方針２．人的資本経営の推進

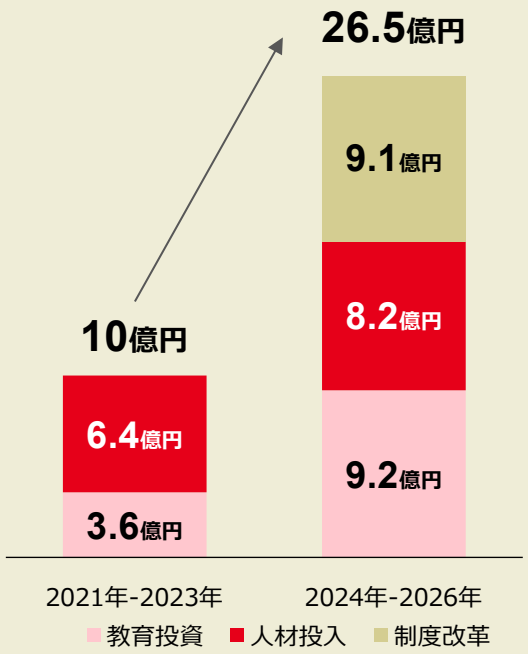
GLOBAL VISION 2030実現のため、積極的に人的資本への投資を実行

制度改革
多様な人材の獲得及びエンゲージメントと
生産性の向上を目的とした
人事制度改定の刷新

人材投入
事業戦略に連動した
積極的な人材投入による
事業体制強化の推進

教育投資
人材ポートフォリオの明確化による
人材育成プランの確立と
自己成長の機会提供

Phase1投資計画



2027年3月期投資計画



- 2025年4月に人事制度改定を実施。
- 従来の年功的要素を見直し、役割や貢献に応じた処遇・報酬体系へ変更。

- 強化領域への戦略的配員を実施。
- 継続して積極的な人材投入を実施予定。

- 従業員一人ひとりの潜在能力の底上げと自立した学習意欲を支える教育体系を構築。
- 各本部の教育体系化、部門教育の拡充を継続実施。

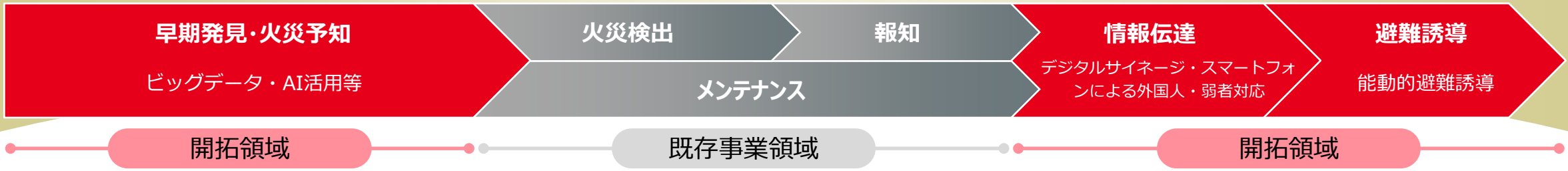
( )内は2024-2025年実績

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

基本方針３．DXによるイノベーション創出

DXの推進により、既存事業のプロセス効率化による付加価値と、開拓領域の新たな価値を生み出す。

法令で定められた 火災防災ソリューション



既存事業を支えるあらゆる現場で時間を創出し、付加価値を創出

FY25までの進捗

クラウドを活用した新たなビジネスとして、防災クラウドサービス「HOCHIKI as a Service（ホーチキアース）」を2025年4月にサービス開始。

HOCHIKI as a Service（HCKaaS）とは

火災の発生を速やかに通知。
災害対応への迅速な初動を叶える防災クラウドサービス

1. 火災の発生をSMS（ショートメッセージサービス）やEメールで速やかに通知し、火災情報の迅速な伝達、早期の避難誘導を実現。
2. 火災受信機が保有する火災情報を集約したクラウドに災害情報提供APIを装備しており、建物OSや他サービスとの連携を容易に行うことが可能。

FY26以降の展開

「HOCHIKI as a Service（ホーチキアース）」の販売強化共に他社とのサービス連携を推進。





【アライアンス事例】

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

1 | 2026年3月期業績

2 | 2027年3月期予想

3 | GLOBAL VISION 2030／Phase1（24-26）の進捗状況

GLOBAL VISION 2030／Phase1：2030年度をターゲットにした中長期経営計画のうち2024-2026の3ヵ年計画

4 | 資本コストと市場を意識した経営の実践

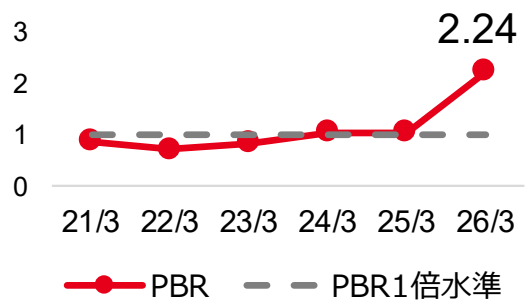
Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状認識

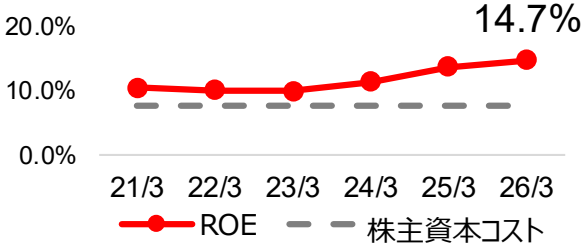
PBR

2倍を超え上昇傾向



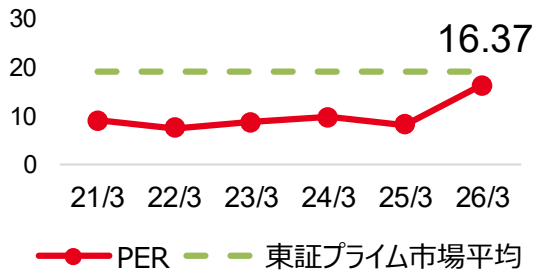
ROE

収益性の改善により上昇



PER

将来成長性と収益力への期待が高まっている



2026年3月期における企業価値向上に向けた取り組み

企業価値向上（PBR向上）

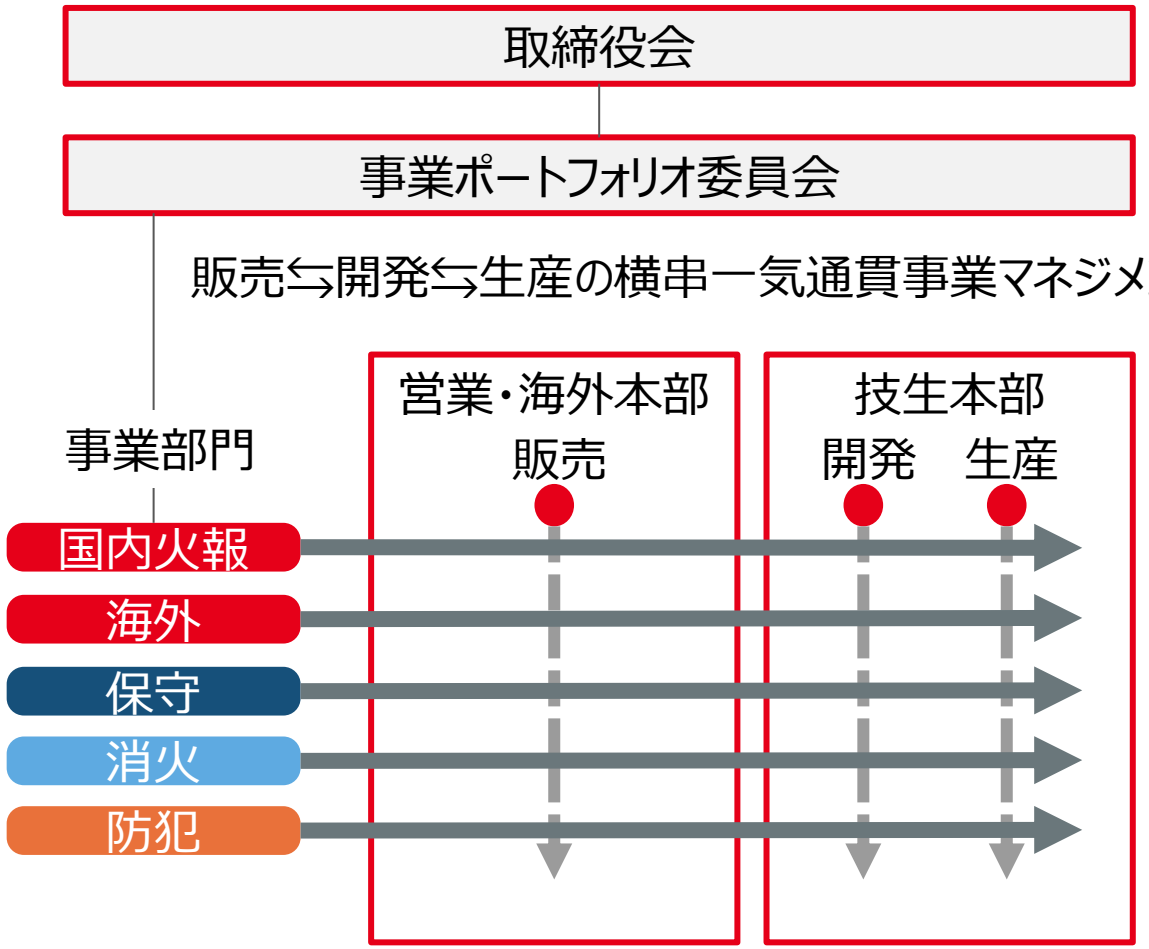
- ROE向上
  - ① 事業ポートフォリオ経営の推進
    - 各事業部門の事業戦略と資本収益性モニタリング結果に基づく事業ポートフォリオ最適化のマネジメントを実施。
  - 収益性の改善
    - 採算性を重視した受注活動や、契約更新時に原材料価格・労務費の上昇を反映した再見積を提示。
  - ② 資本効率性の改善
    - 売上債権は、可視化ツールを導入し、回転期間圧縮を継続。
    - 棚卸資産は、PSIマネジメント体制強化に向けた取り組みを進めている。
- PER向上
  - ③ 株式市場の対話強化
    - 積極的なIRによる投資家とのエンゲージメント強化を実行。
    - 社長による投資家との対話を7回実施。
    - 個人投資家向けIRサイトをリニューアル。
  - 流動性向上による投資家層拡大
    - 流通株式比率は54.0%となり、前年度末比で2%向上。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

①事業ポートフォリオ経営の推進【取り組み内容】

事業ポートフォリオ戦略

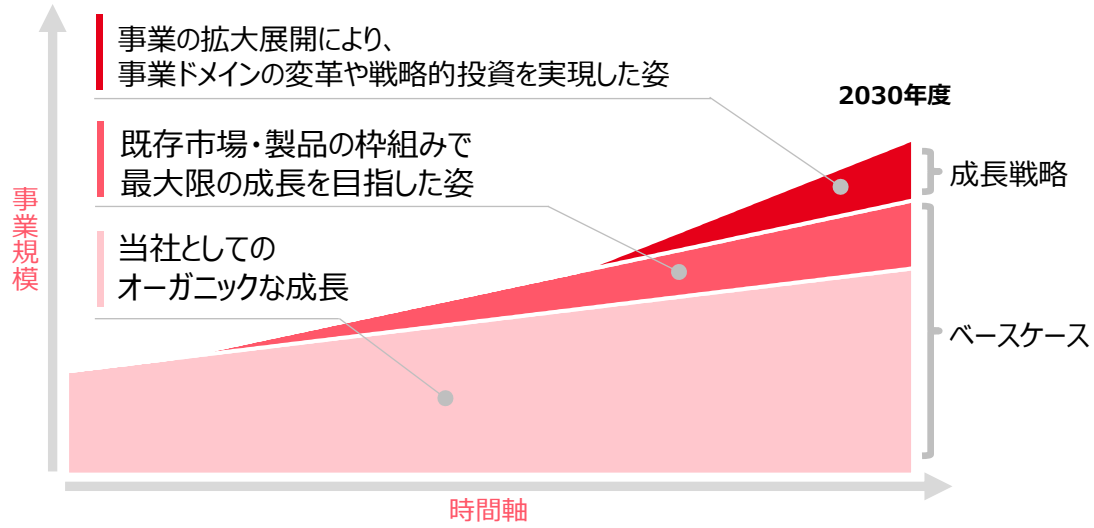
1. **事業責任の明確化を狙いとした事業部門制導入（開示区分同期）**
2. **資本コストを意識した事業マネジメントへ転換（PL思考からBS思考へ）**
3. **事業ポートフォリオ委員会にて各事業戦略＆計画案を討議**



事業ポートフォリオ委員会内容

- **事業ポートフォリオ委員会では2030年をターゲットに討議**
- **事業部門長が中心となり、事業のベースケースシナリオと成長戦略の検討を実施**
- **事業価値向上策と戦略投資の妥当性を厳格マネジメント**

ベースケース	既存市場・製品の枠組みにて検討した事業計画（オーガニックをベースとした戦略）
成長戦略	事業の拡大展開により、事業ドメインの変化や戦略的投資をベースにした事業検討



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

②資本効率性の改善【取り組み内容】

事業ポートフォリオ経営の推進による全社ROICの改善

全社ROIC

ROIC：NOPAT÷投下資本（運転資本＋固定資産）

事業別ROIC

火災報知設備 / 保守 / 消火設備 / 防犯設備

全社ROIC 2026年3月期実績 **13.4%**

前期比 **+2.3pp**

NOPAT率	8.0%	+1.4pp		
売上総利益率	39.4%	+2.5pp		
販管費比率	28.0%	+0.6pp		
投下資本回転率	1.7回転	+0.0pp		
売上債権回転率	3.7回転	+0.2pp		
棚卸資産回転率	7.0回転	+0.6pp		
仕入債務回転率	11.1回転	+2.1pp		
固定資産回転率	4.2回転	△0.2pp		

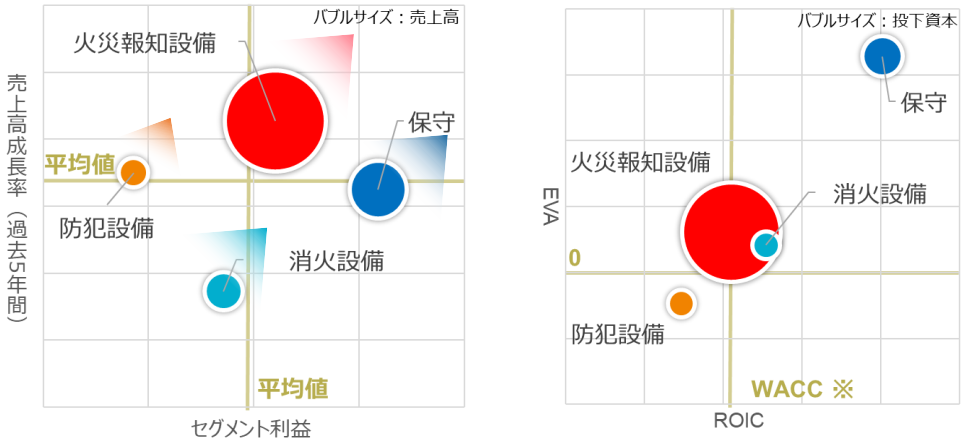
PL

- 高収益性事業の強化、採算性を重視した受注活動、およびPSIマネジメントの徹底によるコスト削減を実現する。
- 2026年3月期は、特に採算性の向上とコストコントロールが奏功。

BS

- 出来高請求の可視化ツールを活用し、売上債権回転率を向上。
- PSIマネジメント体制を強化し、適切な在庫水準を目指す。
- 中長期視点での固定資産投資を実施。

事業別ROICの特徴と今後の方向性



（百万円）		売上高成長率	セグメント利益	EVA	ROIC
26/3月期実績	火災報知設備	6.5%	7,316	305	11.0%
	保守	4.5%	3,570	1,640	30.2%
	消火設備	1.5%	901	207	15.4%
	防犯設備	5.0%	278	△ 233	4.7%

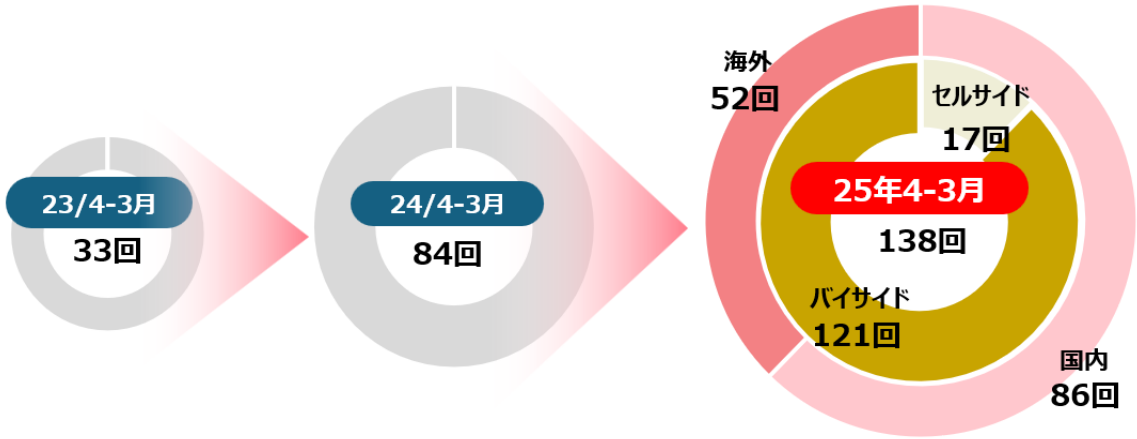
火災報知設備	自社開発・生産による高い投下資本構造のもと、海外成長と国内の採算重視の両輪でROIC向上。
保守	投下資本が小さく高い収益性を有する中核収益事業として、整備工事等の伸長により全社業績を底上げ。
消火設備	保守に次ぐROIC水準である一方、収益変動が課題。収益性改善と施工力確保による基盤強化を目指す。
防犯設備	ROICの値が低く、収益性の改善が課題。市場成長をとらえた施策により売上高の伸長を目指す。

※当社が認識するWACCについては、市場環境の変化や株主・投資家からの期待を元に、従来の7.65%から10.38%へ変更いたします。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

③株式市場の対話強化【取り組み内容】

機関投資家との1on1 実績（個別面談実施回数）



説明会・ミーティングの実施状況

		2024年度	2025年度
機関投資家	決算説明会	2回	2回
	社長個別IR	ー	7社
	海外個別IR	6社	7社
個人投資家	個人投資家向け説明会	4回	4回
	IRフェア	ー	1回
	活動数　合計	12	21

株主・投資家のご意見・ご要望への取組み

● 経営陣・社内へのフィードバック

主なフィードバックの機会	
執行役員会・経営会議	投資家面談および決算説明会や企業説明会などにていただいたご意見・ご要望、市場の反応などを報告。 頻度：四半期決算前後および都度。
取締役会	
社内業績説明会	
社長・IRチームミーティング	

● ご意見・ご要望への対応

ご意見・ご要望	改善対応など
流動性の低さを指摘	・2024年に株式売出しを実施するとともに、政策保有株式の売却について、継続的な取組み実施。 ・2026年4月1日付で普通株式1株を3株に分割し、個人投資家を含む幅広い投資家層が投資しやすい環境を整備。
株主還元改善と方針明確化の指摘	・2026年3月期末配当を増配し、年間配当を実質的に前期比増配とすることで、業績成長を株主還元に反映。 ・中期経営計画Phase2の目標設定に合わせ、株主還元に関する考え方や定量目標の開示を検討。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

キャッシュアロケーションと戦略投資

当初Phase1(24-26）計画

(億円)

営業CF 330	投資 225	通常設備	50
		生産能力増強 生産合理化 推進	115
		事業領域拡張	60
	機動的追加投資・還元枠		

26年度を基にしたPhase1(24-26）予測

(億円)

営業CF 350	投資 150	通常設備	60
		生産能力増強 生産合理化 推進	25
		事業領域拡張	65
	株主還元		79
	機動的追加投資・還元枠		121

GAP △90億円

Phase２に向けて

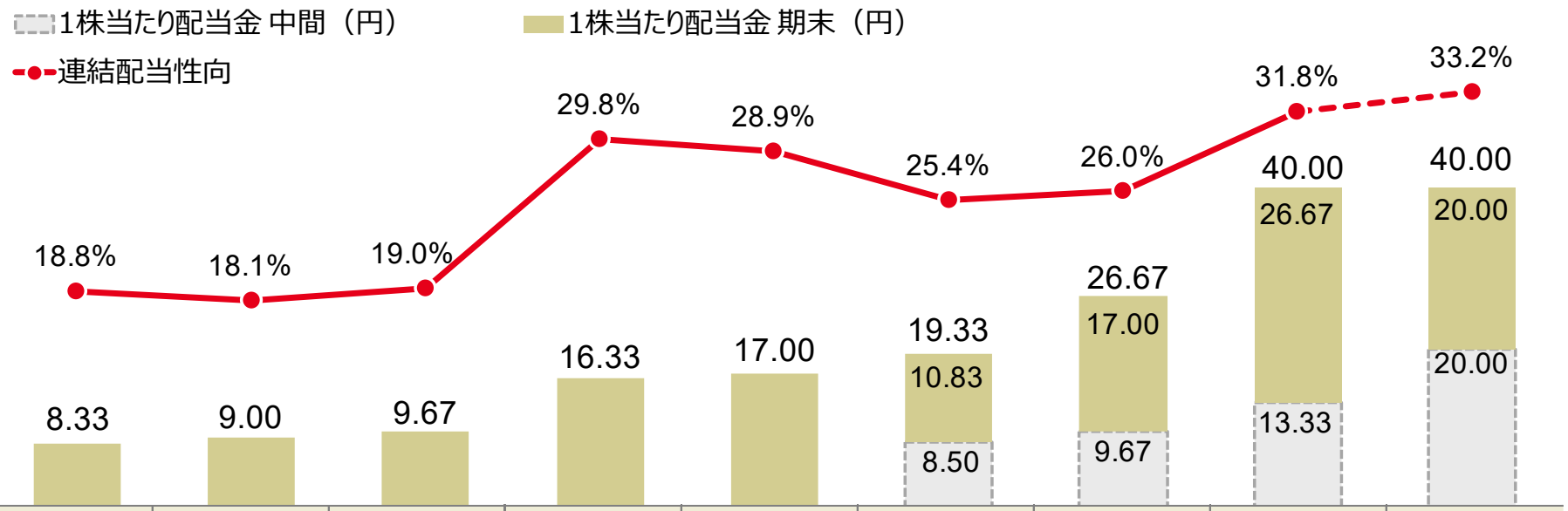
- 遅延した生産能力増強・合理化投資を最優先で実行。
- 創出キャッシュを成長投資へ確実に結びつける。
- 投資判断と実行スピードの引き上げ。

- **営業キャッシュフローは利益の増加に加えて、売上債権・棚卸資産の圧縮により、目標3か年累計330億円を達成する見通し。**
- **投資については、大型投資を予定していた生産能力増強・合理化推進投資に遅れが生じており、対応スピードを高める。**

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

配当方針

- **中長期的な視点での持続的な成長に必要な投資を実行したうえで配当性向やDOE等の指標を勘案しながら累進的配当政策を維持。**
- **当期については、中間配当を1株当たり20円00銭、期末配当を1株当たり20円00銭とし、年間配当は1株当たり40円00銭を計画。**



	19/3月期 実績	20/3月期 実績	21/3月期 実績	22年/3月期 実績	23年/3月期 実績	24年/3月期 実績	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	27年/3月期 予想
1株当たり配当金 中間（円）	-	-	-	-	-	8.50	9.67	13.33	20.00
1株当たり配当金 期末（円）	8.33	9.00	9.67	16.33	17.00	10.83	17.00	26.67	20.00
連結配当性向	18.8%	18.1%	19.0%	29.8%	28.9%	25.4%	26.0%	31.8%	33.2%
株主資本配当率（DOE）	2.0%	2.0%	2.0%	3.0%	2.9%	2.9%	3.6%	4.7%	4.2%
自己資本当期純利益率（ROE）	10.8%	11.3%	10.5%	10.1%	10.0%	11.4%	13.7%	14.7%	12.6%

※2026年4月1日に1株を3株に分割しております。1株当たり配当金は株式分割後に換算した金額で過去実績も遡及修正しております。
なお、株式分割を考慮しない場合の26年3月期の1株当たり配当金は120.0円となります。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

Appendix

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期 決算概要

(百万円)	25年/3月期実績		26年/3月期予想		26年/3月期実績		対前期比		対予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	100,900	100.0%	100,900	100.0%	105,855	100.0%	4,954	4.9%	4,955	4.9%
売上原価	63,747	63.2%	62,300	61.7%	64,186	60.6%	438	0.7%	1,886	3.0%
売上総利益	37,153	36.8%	38,600	38.3%	41,669	39.4%	4,515	12.2%	3,069	8.0%
販売費及び一般管理費	27,600	27.4%	28,600	28.3%	29,602	28.0%	2,001	7.3%	1,002	3.5%
営業利益	9,553	9.5%	10,000	9.9%	12,066	11.4%	2,513	26.3%	2,066	20.7%
経常利益	9,736	9.6%	10,000	9.9%	12,344	11.7%	2,608	26.8%	2,344	23.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,650	7.6%	7,200	7.1%	9,377	8.9%	1,726	22.6%	2,177	30.2%
工事付売上高	40,667	40.3%	39,557	39.2%	41,488	39.2%	820	2.0%	1,930	4.9%
新築売上高	15,868	39.0%	15,670	39.6%	15,793	38.1%	△ 75	△0.5%	122	0.8%
リニューアル売上高	24,799	61.0%	23,886	60.4%	25,695	61.9%	896	3.6%	1,808	7.6%
(うち火報リニューアル売上高)	15,694	38.6%	15,831	40.0%	16,548	39.9%	853	5.4%	716	4.5%
機器売上高	39,148	38.8%	39,542	39.2%	41,934	39.6%	2,786	7.1%	2,391	6.0%
海外売上高	22,579	22.4%	23,000	22.8%	24,870	23.5%	2,291	10.1%	1,870	8.1%
メンテナンス売上高	21,085	20.9%	21,800	21.6%	22,432	21.2%	1,347	6.4%	632	2.9%
設備投資額	2,385	2.4%	-	-	2,172	2.1%	△ 212	△8.9%	-	-
減価償却費	1,404	1.4%	-	-	1,623	1.5%	218	15.6%	-	-
研究開発費	3,523	3.5%	-	-	3,788	3.6%	264	7.5%	-	-
為替レート（円/USD）	152.62	-	140.00	-	150.67	-	△ 1.95	-	10.67	-
為替レート（円/GBP）	194.73	-	185.00	-	201.97	-	7.24	-	16.97	-
従業員数（人）	2,383	-	-	-	2,722	-	339	-	-	-
自己資本比率	65.9%	-	-	-	69.8%	-	3.9%	-	-	-
総資産当期純利益率（ROA）	8.7%	-	-	-	10.0%	-	1.3%	-	-	-
自己資本当期純利益率（ROE）	13.7%	-	-	-	14.7%	-	1.0%	-	-	-

※リニューアル売上高の構成比は、全工事付売上高に対する比率。
※為替レートの対前期比のマイナス表記は円高、プラス表記は円安を示しています。
※従業員数（人）は26年/3月期より見直しを行っております。25年/3月期実績においては遡及適用をしております。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期 連結セグメント別業績概要

（百万円）		25年/3月期 実績	26年/3月期 予想	26年/3月期 実績	対前期比		対予想比	
					増減額	増減率	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	62,486	63,000	66,401	3,914	6.3%	3,401	5.4%
	営業利益	8,974	9,600	11,187	2,212	24.7%	1,587	16.5%
	営業利益率	14.4%	15.2%	16.8%	2.5pp	–	1.6pp	–
保守	売上高	21,085	21,800	22,432	1,347	6.4%	632	2.9%
	営業利益	5,044	5,350	5,289	244	4.8%	△ 60	△1.1%
	営業利益率	23.9%	24.5%	23.6%	△ 0.3pp	–	△ 1.0pp	–
消火設備	売上高	11,179	9,800	10,541	△ 637	△5.7%	741	7.6%
	営業利益	1,607	900	1,649	41	2.6%	749	83.3%
	営業利益率	14.4%	9.2%	15.6%	1.3pp	–	6.5pp	–
防犯設備	売上高	6,149	6,300	6,479	330	5.4%	179	2.9%
	営業利益	634	950	777	143	22.6%	△ 172	△18.2%
	営業利益率	10.3%	15.1%	12.0%	1.7pp	–	△ 3.1pp	–
調整額	営業利益	△ 6,708	△ 6,800	△ 6,836	△ 128	–	△ 36	–
合計	**売上高**	**100,900**	**100,900**	**105,855**	**4,954**	**4.9%**	**4,955**	**4.9%**
	営業利益	**9,553**	**10,000**	**12,066**	**2,513**	**26.3%**	**2,066**	**20.7%**
	営業利益率	**9.5%**	**9.9%**	**11.4%**	**1.9pp**	–	**1.5pp**	–
※参考 海外グループ会社5社 単純合算	売上高	27,216	26,887	29,704	2,488	9.1%	2,816	10.5%
	営業利益	2,716	2,969	3,091	374	13.8%	122	4.1%
	営業利益率	10.0%	11.0%	10.4%	0.4pp	–	△ 0.6pp	–

※海外グループ会社の収益は連結相殺後の数値にて火災報知設備セグメントに含まれておりますが、海外事業の収益構造の参考値として掲載いたします。

pp: パーセンテージポイント

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期 連結売上高ビジネスタイプ×市場別推移

(百万円)	25年/3月期 実績		26年/3月期 実績		対前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
国内事業　合計	78,321	77.6%	80,985	76.5%	2,663	3.4%
工事付売上高	40,667	51.9%	41,488	51.2%	820	2.0%
新築売上高	15,868	39.0%	15,793	38.1%	△ 75	△0.5%
(うち火報新築売上高)	(5,935)	(14.6%)	(6,426)	(15.5%)	(490)	(8.3%)
リニューアル売上高	24,799	61.0%	25,695	61.9%	896	3.6%
(うち火報リニューアル売上高)	(15,694)	(38.6%)	(16,548)	(39.9%)	(853)	(5.4%)
保守売上高	21,085	26.9%	22,432	27.7%	1,347	6.4%
ストックビジネス売上高（リニューアル+保守）	45,884	58.6%	48,128	59.4%	2,243	4.9%
機器販売売上高	16,568	21.2%	17,064	21.1%	495	3.0%
海外事業　合計	22,579	22.4%	24,870	23.5%	2,291	10.1%
連結売上高　合計	100,900	-	105,855	-	4,954	4.9%
工事付売上高	40,667	40.3%	41,488	39.2%	820	2.0%
保守売上高	21,085	20.9%	22,432	21.2%	1,347	6.4%
機器販売売上高	39,148	38.8%	41,934	39.6%	2,786	7.1%

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期　海外地域別売上高

（百万円）	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	対前期比 増減額	対前期比 増減率
北米・中南米	2,645	2,749	103	3.9%
北米	2,110	2,242	132	6.3%
その他	534	506	△ 28	△5.4%
アジア・パシフィック	5,993	7,387	1,393	23.3%
ベトナム	2,452	3,326	873	35.6%
フィリピン	292	194	△ 97	△33.4%
バングラデシュ	332	368	36	10.8%
東アジア（日本除く）	1,550	1,925	375	24.2%
豪州	475	629	154	32.4%
その他	891	943	52	5.9%
欧州・中東・インド	13,939	14,733	793	5.7%
英国	7,476	7,957	481	6.4%
欧州（英国除く）	3,507	4,097	590	16.8%
中東	2,214	2,074	△ 140	△6.3%
その他	741	603	△ 138	△18.7%
合計	22,579	24,870	2,291	10.1%

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期　連結貸借対照表の概要

(百万円)	25年/3月期 期末	26年/3月期 期末	対前期末比 増減額	対前期末比 増減率
資産合計	**89,655**	**97,936**	**8,280**	**9.2%**
流動資産	66,087	72,721	6,634	10.0%
固定資産	23,567	25,214	1,646	7.0%
有形固定資産	12,663	12,842	179	1.4%
無形固定資産	1,060	1,467	407	38.4%
投資その他の資産	9,844	10,904	1,059	10.8%
負債合計	**30,333**	**29,467**	**△ 866**	**△ 2.9%**
流動負債	23,055	22,160	△ 894	△ 3.9%
固定負債	7,278	7,306	27	0.4%
純資産合計	**59,321**	**68,469**	**9,147**	**15.4%**
株主資本	54,373	61,438	7,065	13.0%
資本金	3,798	3,798	-	-
資本剰余金	2,728	2,700	-28	△ 1.1%
利益剰余金	49,681	56,775	7,094	14.3%
自己株式	△ 1,835	△ 1,835	0	-
その他の包括利益累計額	4,743	6,964	2,220	46.8%
非支配株主持分	204	66	△ 138	△ 67.7%
負債純資産合計	**89,655**	**97,936**	**8,280**	**9.2%**
自己資本比率	65.9%	69.8%	3.9pp	-

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)	25年/3月期 実績	**26年/3月期 実績**	対前期差
営業活動によるキャッシュ・フロー ①	**11,874**	**10,626**	**△ 1,247**
投資活動によるキャッシュ・フロー ②	**△ 636**	**△ 1,631**	**△ 995**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 1,741**	**△ 2,683**	**△ 941**
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	479	474
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,501	6,791	△ 2,709
現金及び現金同等物の期首残高	11,420	20,921	9,501
現金及び現金同等物の期末残高	**20,921**	**27,713**	**6,791**
フリー・キャッシュ・フロー （①＋②）	11,238	8,995	△ 2,243

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期業績　連結BS･CF･営業外･特別項目

連結BS

（単位：百万円）	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	前年増減額
流動資産	66,087	72,721	6,634
現金及び預金	21,161	27,966	6,804
売上債権	28,110	28,259	149
棚卸資産	15,737	15,184	△ 552
固定資産	23,567	25,214	1,646
投資有価証券	5,280	6,128	847
総資産	89,655	97,936	8,280
仕入債務	7,120	5,783	△ 1,336
その他負債	15,935	16,377	442
純資産	59,321	68,469	9,147

売上債権：受取手形、売掛金及び契約資産+電子記録債権
棚卸資産：製品+仕掛品+原材料
仕入債務：支払手形及び買掛金+電子記録債務

研究開発費･減価償却費

（単位：百万円）	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	前年増減額
研究開発費	3,523	3,788	264
減価償却費	1,404	1,623	218

特別損益の内訳

（単位：百万円）	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	前年増減額
特別損益	412	25	△ 386
うち有形固定資産売却益	5	5	0

連結CF

（単位：百万円）	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績	前年増減額
税引前利益	10,149	12,370	2,221
減価償却費/のれん償却額	1,481	1,677	196
売上債権の増減額	3,435	396	△ 3,039
棚卸資産の増減額	2,322	1,083	△ 1,239
仕入債務の増減額	△ 2,958	△ 1,729	1,229
法人税の支払額	△ 2,846	△ 2,957	△ 111
その他	291	△ 214	△ 505
営業活動CF	11,874	10,626	△ 1,247
投資活動による支出	△ 1,994	△ 1,987	7
子会社株式取得による支出	0	0	0
投資有価証券の売却による収入	1,333	66	△ 1,267
その他	25	290	265
投資活動CF	△ 636	△ 1,631	△ 995
FCF（営業+投資）	11,238	8,995	△ 2,243
財務活動CF	△ 1,741	△ 2,683	△ 941
現金及び現金同等物期末残高	20,921	27,713	6,791

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

参考指標

国内民間非住宅建設投資額

(兆円)	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 見込	2024 見込	2025 見通し	2026 見通し	CAGR (18-25)
建設投資額	11.5	11.6	9.0	9.5	10.2	10.8	10.9	11.2	11.7	△0.4%

出典：「建設経済モデルによる建設投資の見通し（ 2026年 4 月 ）」（建設経済研究所）を元に当社作成

国内防火対象物件数

(千件)	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2024 実績	2025 実績	CAGR (18-25)
防火対象物件数	4,119	4,185	4,215	4,228	4,247	4,265	4,280	4,300	0.6%
うち複合用途	630	645	655	663	667	669	671	674	1.0%

出典：「令和7年度版　消防白書」（消防庁）を元に当社作成

火報グローバルマーケット規模

($m)	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2024 見通し	2025 見通し	2026 見通し	2027 見通し	2028 見通し	CAGR (23-28)
合計	5,553	5,860	6,161	6,425	6,698	7,020	7,377	7,763	4.7%
America	1,621	1,686	1,787	1,884	1,938	2,002	2,094	2,202	4.3%
EMEA	2,028	2,144	2,244	2,306	2,408	2,536	2,662	2,792	4.5%
Asia & Oceania	1,904	2,030	2,130	2,235	2,351	2,483	2,620	2,769	5.4%

出典：「Fire Detection & Suppression Equipment Report –2024 Analysis」（Omdia）を元に当社作成

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2027年3月期 連結業績予想の概要

(百万円)	26年/3月期実績		27年/3月期予想（26/5/8）		対前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	105,855	100.0%	110,000	100.0%	4,144	3.9%
売上原価	64,186	60.6%	65,599	59.6%	1,413	2.2%
売上総利益	41,669	39.4%	44,400	40.4%	2,730	6.6%
販売費及び一般管理費	29,602	28.0%	32,100	29.2%	2,497	8.4%
営業利益	12,066	11.4%	12,300	11.2%	233	1.9%
経常利益	12,344	11.7%	12,500	11.4%	155	1.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	9,377	8.9%	9,000	8.2%	△ 377	△4.0%
工事付売上高	41,488	39.2%	41,771	38.0%	282	0.7%
新築売上高	15,793	38.1%	15,543	37.2%	△ 249	△1.6%
リニューアル売上高	25,695	61.9%	26,227	62.8%	532	2.1%
(うち火報リニューアル売上高)	16,548	39.9%	17,508	41.9%	960	5.8%
機器売上高	41,934	39.6%	44,928	40.8%	2,994	7.1%
海外売上高	24,870	23.5%	27,000	24.5%	2,129	8.6%
メンテナンス売上高	22,432	21.2%	23,300	21.2%	867	3.9%
設備投資額	2,172	2.1%	5,341	4.9%	3,168	145.8%
減価償却費	1,623	1.5%	1,859	1.7%	235	14.5%
研究開発費	3,788	3.6%	4,265	3.9%	477	12.6%
為替レート（円/USD）	150.67	-	149.00	-	△ 1.67	-
為替レート（円/GBP）	201.97	-	201.00	-	△ 0.97	-
従業員数（人）	2,722	-	-	-	-	-
自己資本比率	69.8%	-	-	-	-	-
総資産当期純利益率（ROA）	10.0%	-	-	-	-	-
自己資本当期純利益率（ROE）	14.7%	-	12.6%	-	△2.1%	-

※リニューアル売上高の構成比は、全工事付売上高に対する比率。
※為替レートの対前期比のマイナス表記は円高、プラス表記は円安を示しています。
※従業員数（人）は26年/3月期より見直しを行っております。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2027年3月期 セグメント別損益予想

（百万円）		26年/3月期 実績	27年/3月期 予想（26/5/8）	対前期比 増減額	対前期比 増減率
火災報知設備	売上高	66,401	69,600	3,198	4.8%
	営業利益	11,187	12,000	812	7.3%
	営業利益率	16.8%	17.2%	0.4pp	
保守	売上高	22,432	23,300	867	3.9%
	営業利益	5,289	6,300	1,010	19.1%
	営業利益率	23.6%	27.0%	3.4pp	
消火設備	売上高	10,541	10,100	△ 441	△4.2%
	営業利益	1,649	1,500	△ 149	△9.1%
	営業利益率	15.6%	14.9%	△ 0.7pp	
防犯	売上高	6,479	7,000	520	8.0%
	営業利益	777	800	22	2.9%
	営業利益率	12.0%	11.4%	△ 0.6pp	
調整額	営業利益	△ 6,836	△ 8,300	△ 1,463	-
合計	**売上高**	**105,855**	**110,000**	**4,144**	**3.9%**
	営業利益	**12,066**	**12,300**	**233**	**1.9%**
	営業利益率	**11.4%**	**11.2%**	**△ 0.2pp**	
※参考 海外グループ会社5社 単純合算	売上高	29,704	32,760	3,055	10.3%
	営業利益	3,091	3,340	248	8.1%
	営業利益率	10.4%	10.2%	△ 0.2pp	

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

2027年3月期 受注高予想

(百万円)	26年/3月期		27年/3月期予想（26/5/8）		対前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
受注高	108,537	100.0%	111,000	100.0%	2,462	2.3%
火災報知設備	68,627	63.2%	70,300	63.3%	1,672	2.4%
（うち海外）	24,870	22.9%	27,000	24.3%	2,129	8.6%
保守	22,778	21.0%	23,600	21.3%	821	3.6%
消火設備	10,425	9.6%	9,600	8.6%	△ 825	△7.9%
防犯設備	6,705	6.2%	7,500	6.8%	794	11.8%

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

基本情報

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

会社概要

ホーチキ株式会社は火災報知設備を事業の軸にして、
グローバルに火災防災を通じて安全･安心な生活を守っています。



ホーチキ株式会社

HOCHIKI CORPORATION

証券コード
6745

設立	1918（大正7）年4月2日
本社	東京都品川区上大崎二丁目10番43号
資本金	37億9,800万円
従業員数	単体：1,900名 連結：2,722名
上場証券取引所	東京証券取引所　プライム市場

※2026年3月31日現在

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

国内外に広がるホーチキグループ

納入実績

129カ国

拠点数

（国内）**42**拠点（海外）**19**拠点

日本

80,985 百万円

2,073 名

営業拠点：37　生産拠点：3　開発拠点：2

北米/中南米

2,749 百万円

119 名

営業拠点：5
生産拠点：1
開発拠点：2

アジア・パシフィック

7,387 百万円

53 名

営業拠点：9

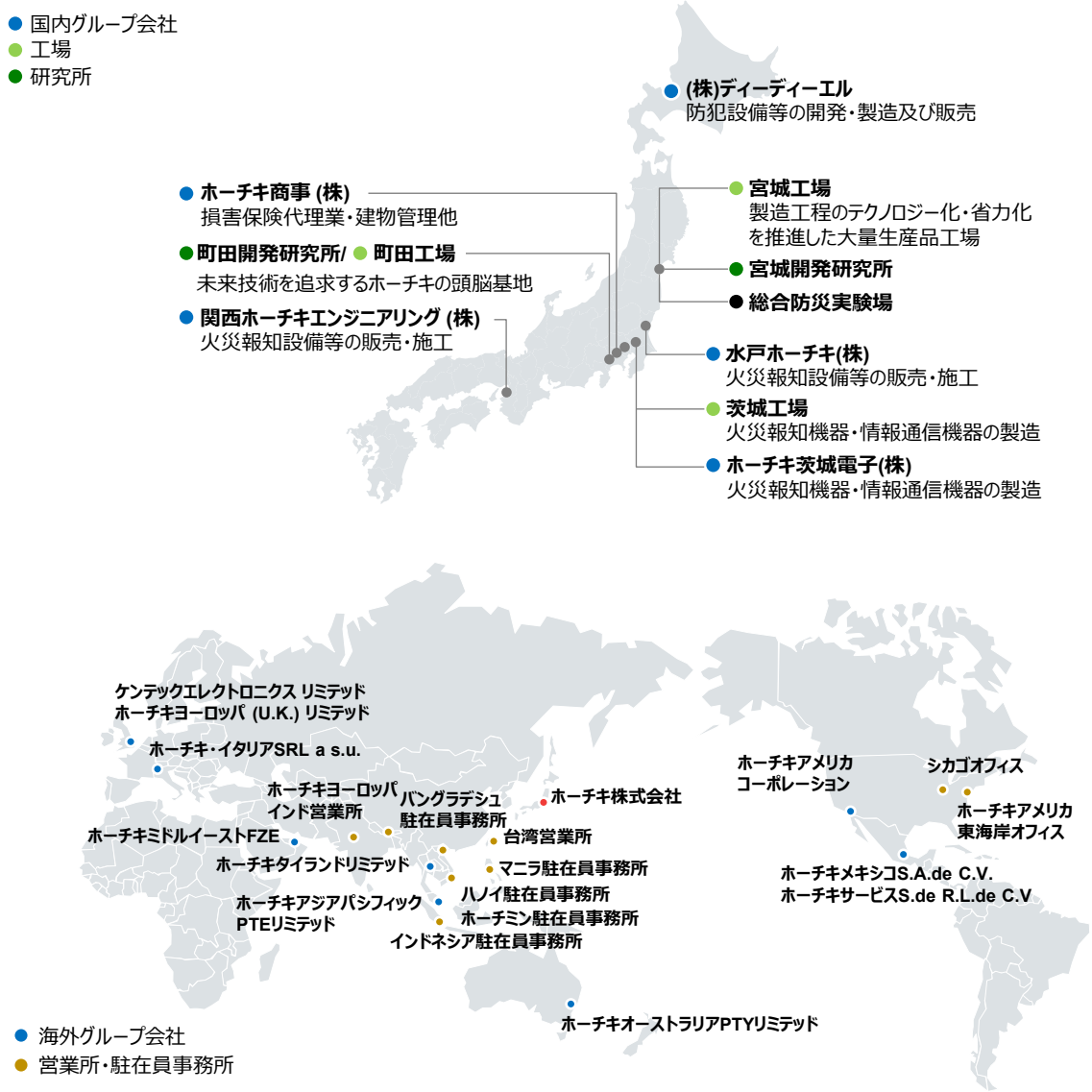
欧州/中東/インド

14,733 百万円

477 名

営業拠点：5
生産拠点：2
開発拠点：1

売上高　従業員数　拠点数（2026年3月期実績）



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

これまでも、これからも。

時代の要請に応え、火災防災を通して社会に貢献する。



日本初の受信機



日本初の火災報知機

受け継がれていく創業の精神

火災報知設備が原点となり、時代と共に進化し、
様々な建物・施設に導入され、安全・安心な生活を守っています。

1918年（大正7年）

日本初の火災報知機メーカーとして誕生

東京市（現東京都）を火災から守る為、
当時の警視庁が火災報知設備の設置を計画。
主に損害保険会社の出資により、
日本初の火災報知機メーカーとして誕生。

1920年（大正9年）

日本初の火災報知機であるMM式
火災報知機を東京日本橋に設置。



東京日本橋に設置された日本初の
街路発信機

1921年（大正10年）

皇居内にMM式火災報知機を設置。



MM式火災報知機開通式でボタンを押す
岡警視総監

1925年（大正14年）

新国会議事堂に火災報知機
設置が決定。



新国会議事堂に設置された
火災報知機に関する記事

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

ホーチキの歴史

これまでも、これからも。

ニーズや環境の変化に対応し
時代と共に進化してきました。



1961年 タイへ初の輸出

1972年 東京証券取引所市場第1部に指定替え
商号をホーチキ株式会社に変更
米国に100%子会社ホーチキアメリカ
コーポレーション設立

1991年 英国に100%子会社ホーチキ
ヨーロッパ（U.K.）リミテッド設立

1995年 宮城県角田市（宮城工場に
併設）に 世界最大規模の
総合防災実験場を建設

2012年 オーストラリアに100%子会社ホーチキオーストラリアPTYリミテッド設立
2012年 ケンテックエレクトロニクスリミテッドを 連結子会社化
2014年 シンガポールにホーチキアジアパシフィックPTEリミテッド設立
2018年 水戸ホーチキ株式会社を 連結子会社化
2022年 株式会社ディーディーエルを 連結子会社化

感知器（センサー）



2010年
国内初無線式自動火災報知設備「Air Series」の販売を開始



2016年
煙、熱、一酸化炭素を検出、非火災報低減機能付の海外向けマルチセンサーの販売を開始



2020年
高さ・直径ともに当社現行品比40%以上コンパクト化し、設置空間に馴染む新型熱感知器の販売開始

受信機（パネル）



2016年
海外向け新型受信機
「Taktis/L@titude」の販売を開始



2023年
国内業界初端末バックアップ機能搭載の
GR型防災受信機「HRU」の販売を開始

放水銃システム



1988年
大規模放水銃システム
第一号をドーム球場に納入



2015年
小規模アトリウムなどの防災に最適な
小規模放水銃Ⅱプラスシステムの販売を開始

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

事業概要

火災報知設備を軸に、建物内の安全・安心に貢献する各種ソリューションをトータルで提供

海外事業の売上高が23.5%を占め、拡大傾向が続く

防犯設備

防犯設備の製造、販売、施工

- 入退室管理システム
- 鍵管理システム
- 電気錠制御システム、他





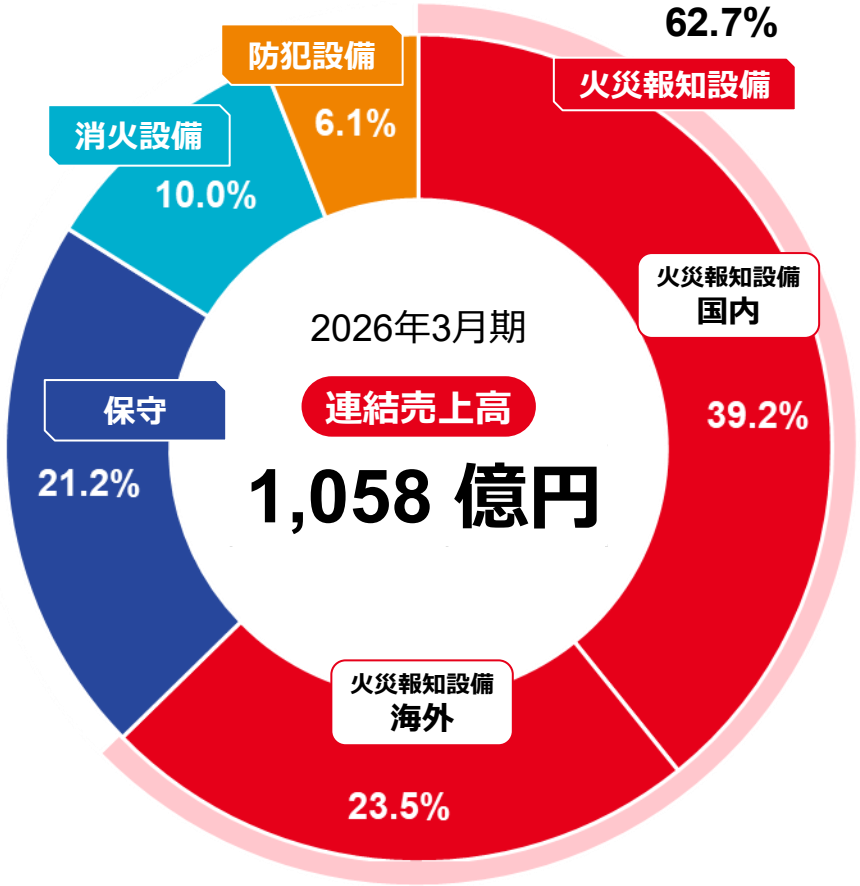
消火設備

消火設備の製造、販売、施工

- スプリンクラー設備
- 放水銃システム
- 屋内・屋外消火栓設備、他







火災報知設備

火災報知設備の製造、販売、施工

- 自動火災報知設備
- 非常警報設備
- 火災通報装置
- 超高感度煙監視システム、他

国内向け　海外向け





保守

防災設備に係る保守点検、整備工事



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

ホーチキのビジネスタイプ

ホーチキは3つのビジネスタイプを展開

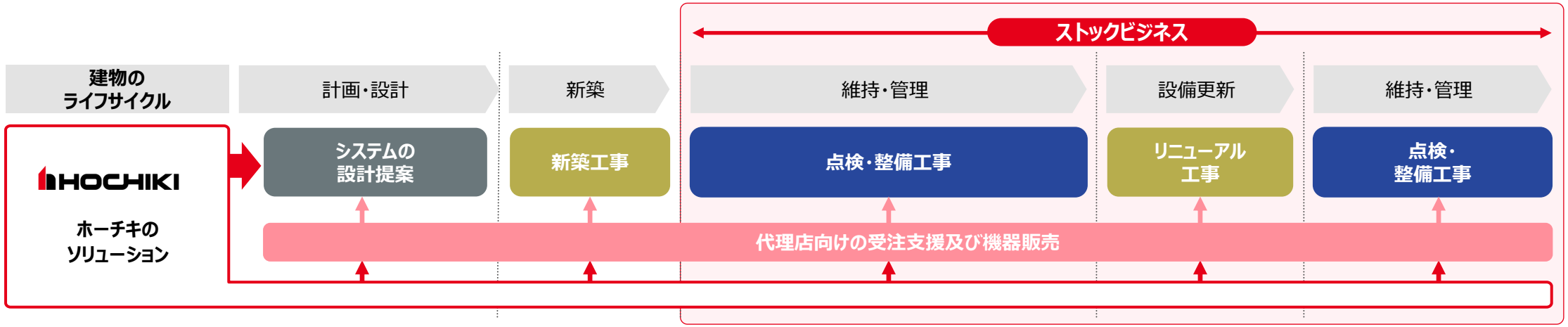
工事付
- 新築・リニューアル工事における製品の設置・試験調整まで含めたシステムの販売

保守
- 消防設備における点検・整備工事

機器販売
- 代理店等への機器販売
- 海外は機器販売のみ展開

建物のライフサイクルに沿ったホーチキの価値提供

- 建物のライフサイクルに沿ったソリューションをご提案することで、お客様と長期間にわたりリレーションを構築



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

主要製品紹介

オフィスビルやショッピングセンターなど多様な建物にホーチキ製品が導入され、皆さんの安全・安心を見守っています。

火災報知設備

火災を見つける

1 小型熱感知器 

2 光電式スポット型感知器 

3 無線式煙感知器/中継器 

火災信号を受信する

4 超高感度煙監視システム 

5 R型受信機　防災表示装置 

火災を知らせる

6 フラット型表示灯発信機 

防犯設備

人の出入りを管理する

7 入退室管理システム 

消火設備

初期消火する

8 スプリンクラー設備 

9 小規模放水銃 

10 泡消火設備 



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

事業概要　火災報知設備

火災の発生を感知して、建物内に知らせると同時に通報や避難誘導の連動を行う。

見つける

感知器

煙、熱、炎を
感知する。



発信機

人が火災を発見して
ボタンを押す。



受信する

受信機

火災信号を受信すると
警報を行うと共に
火災発生場所を表示する。



知らせる・防ぐ

音響装置

ベル等で警報を
おこない、避難を促す。



火災通報装置

火災の発生を
消防機関に通報する。



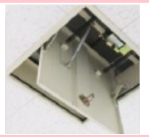
防火戸

煙の流入や炎の拡大を
防ぐ。



排煙口

充満する煙を屋外へ排
出する。



避難口誘導灯

安全な避難口へ誘導。



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

万が一の時に確実に作動するように、防災設備のメンテナンスを行う。

点検

関係法に基づき、主に以下の点検を実施する。

- 自動火災報知設備・消火設備などの消防用設備等に対して行う消防設備点検
- 防火扉・防火シャッターなどの防火設備に対して行う防火設備定期検査

整備工事

点検で発覚した不具合に対する是正工事や定期交換工事を行う。

防災設備の点検事例


煙感知器の加煙試験


受信機の点検


誘導灯の点検


消火ポンプの点検

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

「水」「泡」「ガス（気体）」などを利用して初期消火を行い、火災被害を最小限に抑える。

スプリンクラー設備

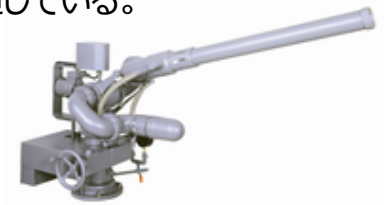
水による初期消火を目的として、
火災感知から放水まで自動で行う。

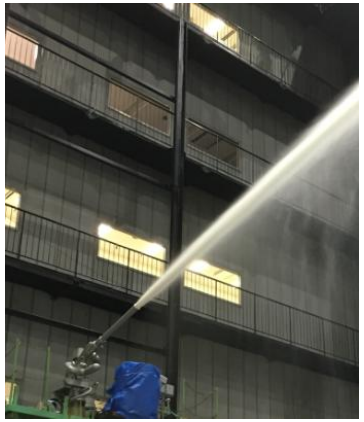




放水銃システム

ドーム球場やイベント施設のような、
大規模な建築物や高天井空間に
適している。





屋内消火栓設備

消防隊到着までの初期消火活動
として人が操作して消火する。



泡消火設備

油火災に効果的であり、
主に駐車場などに設置される。





Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

入退室管理システムを中心に情報漏洩や盗難などのリスクからお客様の財産を守る。

入退室管理システム

監視対象の扉やセキュリティゲートにカードリーダーを設置することで、入退室管理を可能とするシステム。



センター装置

建物全体の
一元管理を行う。



アクセス制御盤

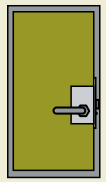
各機器を接続し
システム制御の中枢
をなす。

建物内各所

部外者の立入を未然に防止。
ICカードや生体認証による入退室の履歴管理が可能。



カードリーダー



電気錠



オートドア

火災報知設備と連動し、火災時の強制解錠を行う。



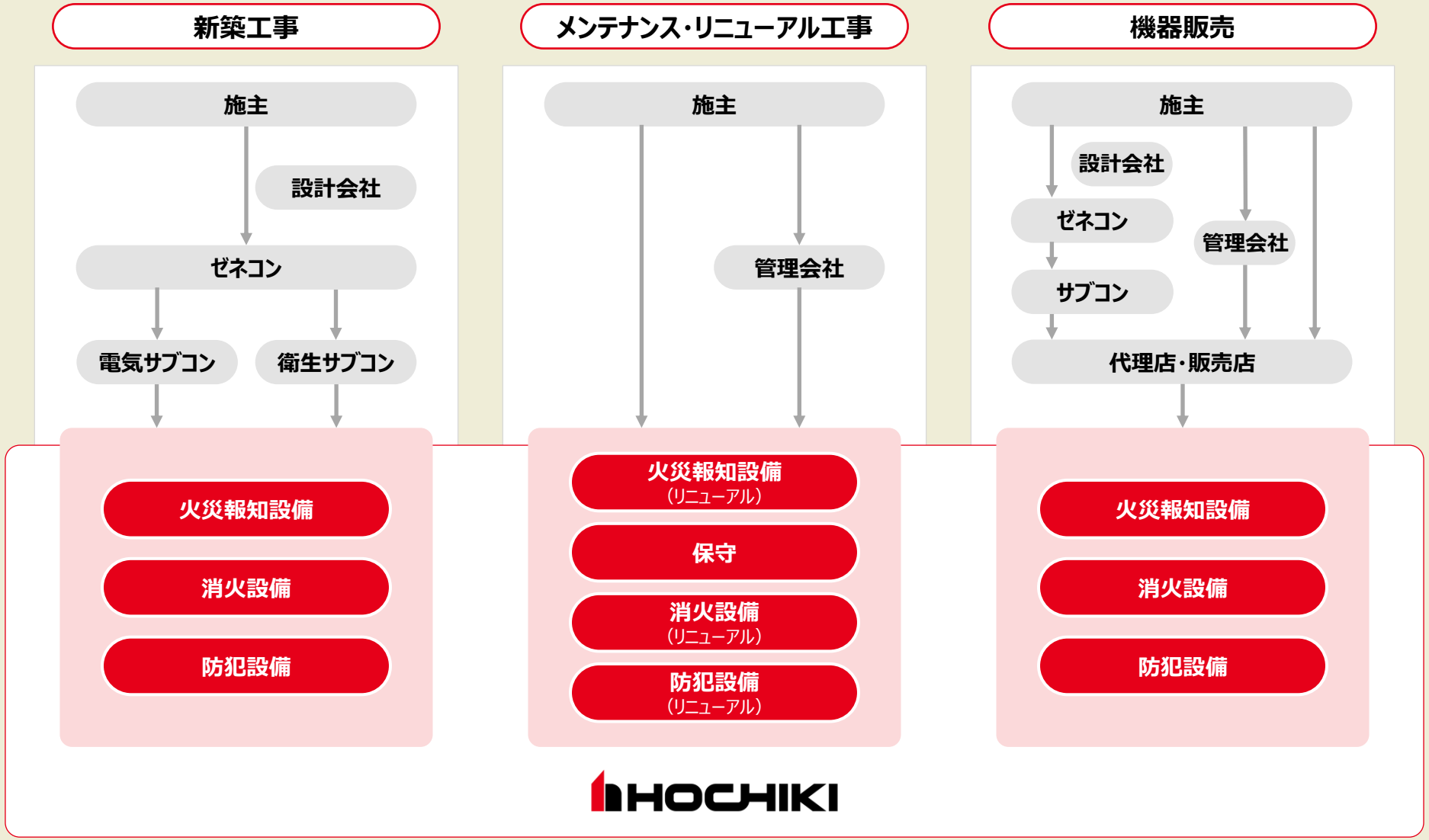
×

他社との業務提携

当社の入退室管理システムと親和性の高い他社システムとの連携により、付加価値の高いセキュリティシステムを提供。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

国内事業における主な商流



Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

国内事業における当社の強みとシェア

強み 1

一貫したソリューション

研究開発、製造から販売、設計・施工、メンテナンス、リニューアルに至るまで、一貫した火災防災ソリューションを提供。

強み 2

豊富な経験とナレッジ

日本初の火災報知機を設置以来、長年の間、国の主要な建物に当社製品を導入した経験による豊富なナレッジ。

強み 3

高い技術力

自社で育成した施工・保守担当者による現場での多様な要望に応えるエンジニアリング力。

大規模市場



33%

大規模市場で
業界第1位のシェアを獲得

HOCHIKI

（金額ベースシェア）

24%

小・中規模市場



出典：株式会社富士経済「DXを実現するセキュリティ関連システム・ソリューション市場の将来展望2025」を元に当社作成

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

海外事業における当社の強み

国内で培ったノウハウやきめ細かいサポート体制により、海外でもホーチキのブランドは信頼されています。

海外での強み 1

高度なセンシング力を持つメーカーとして認知されているブランド力。



ユーロスター始発駅セントパンクラス駅

1987年ロンドン地下鉄のキングスクロス駅の大火災後、
当社製品の高い品質が評価されロンドン地下鉄に採用。
現在もロンドンの地下鉄駅舎に高いシェアを有する。

海外での強み 2

世界の主要規格に適応したグローバル生産体制。

システムの生産体制を確立

EN規格センサー



Hochiki Europe (U.K.)

UL規格センサー



Hochiki America Corporation

UL&EN規格パネル



Kentec Electronics

海外での強み 3

国内事業で培った手厚いテクニカルサポートによる他社との差別化。



各拠点社内にトレーニングルームを設置

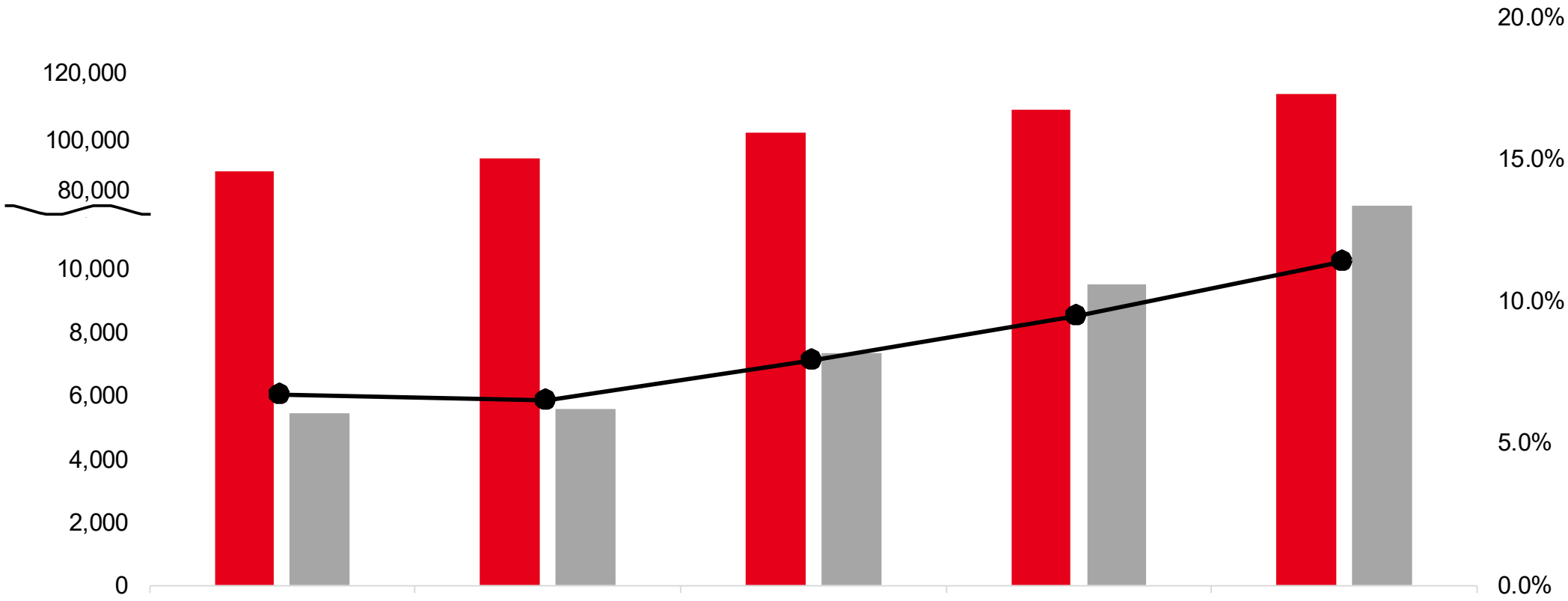
技術トレーニング → **機器販売** → アフターサポート



建物の仕様に合わせた施工調整をサポート

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

連結業績の推移



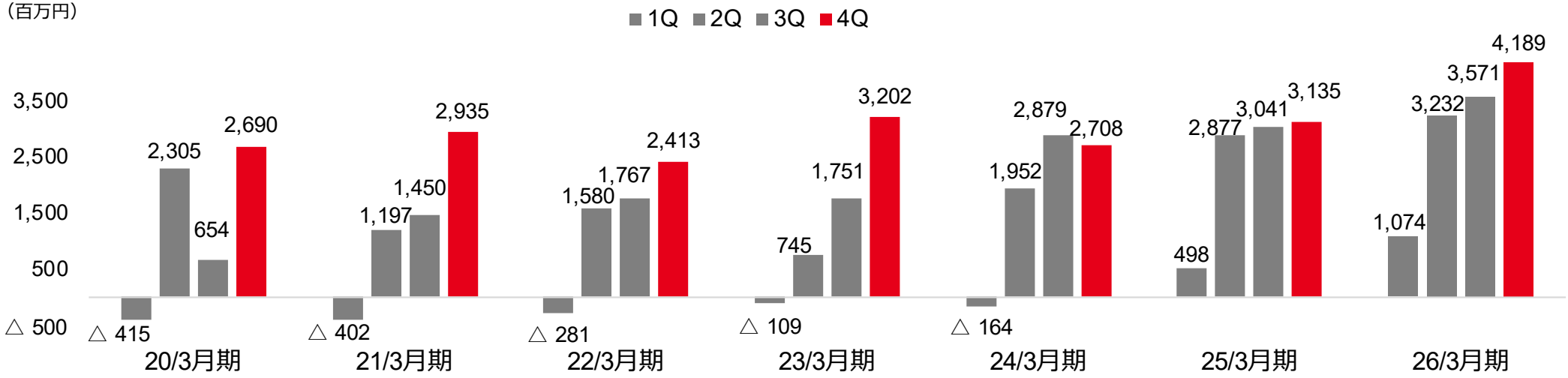
（百万円）	22年/3月期 実績	23年/3月期 実績	24年/3月期 実績	25年/3月期 実績	26年/3月期 実績
売上高	81,251	85,457	93,485	100,900	105,855
営業利益	5,479	5,590	7,375	9,553	12,066
営業利益率	6.7%	6.5%	7.9%	9.5%	11.4%

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

【ご参考】業績の季節変動性について

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きい為、業績に季節的変動があります。

営業利益推移（四半期毎）



営業利益推移（四半期累計）

（百万円）	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
20/3月期	△ 415	1,889	2,543	5,234
21/3月期	△ 402	794	2,245	5,180
22/3月期	△ 281	1,298	3,066	5,479
23/3月期	△ 109	635	2,387	5,590
24/3月期	△ 164	1,787	4,667	7,375
25/3月期	498	3,376	6,418	9,553
26/3月期	1,074	4,306	7,877	12,066

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

用語解説

用語	内容
感知器（センサー）	熱や煙で火災を感知し、受信機に信号を送る。
発信機	火災を発見した人がボタンを押して火災を知らせるための装置。 ボタンが押されると受信機に信号が送られ、音響装置（ベルなど）が鳴動する。
受信機（パネル）	感知器や発信機からの信号を受信し表示するとともに、建物内に警報を発する。防災センターや警備室などに設置されている。
R型受信機	Rは「Record」の略。 火災信号、火災表示信号もしくは、火災情報信号を固有の信号として、または設備作動信号を共通もしくは固有の信号として受信し、火災の発生を防火対象物の関係者に報知する。 一般的に中・大規模の建物に設置される。
P型受信機	Pは「Proprietary」の略。 火災信号もしくは、火災表示信号を共通の信号として、または設備作動信号を共通もしくは固有の信号として受信し、火災の発生を防火対象物の関係者に報知する。
防火対象物	不特定多数の人に利用される建造物等で、消防法により消防用設備等の設置が義務付けられる建物。
UL（米国）規格	アメリカに本拠を置く試験・検査認証を行う企業が定めた規格。
EN（欧州）規格	EU（ヨーロッパ連合）域内における統一規格。
AS（豪州）規格	オーストラリア規格協会が管理している規格。

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.

免責事項

本資料には将来予測に関する記述が含まれております。

将来予測に関する記述にはその他の情報とあわせて、当社グループの将来の成長計画が含まれています。この将来予測は当社が現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、将来の出来事に関する現在の当社の見通し、期待、計画が記述されているに過ぎません。我々はこの将来予測について、新たな結果に関する情報や将来の出来事によっても、最新情報への更新や修正の義務を負うものではありません。

また、本資料中で論じられる予測の対象となる将来の出来事は、現実には起こらないか或いは予期されたことと大きく異なる可能性があり、これらの違いには多くの要素が原因となりえます。

本資料において使用されている商標は、関係各社の保有する登録商標又は出願商標です。

お問い合わせ先

ホーチキ株式会社
経営企画部

TEL　03（3444）4115
E-mail　team_ir@hochiki.co.jp

Copyright HOCHIKI Corporation. All Rights Reserved.